

2024年度 九州国際大学 インターンシップ実施報告書

《 目 次 》

● 令和 6 年度インターンシッププログラムを終えて	1
● インターンシップ概要	
1.インターンシップスケジュール	2
2.実習企業先一覧	3
● 実習レポート	4~68
● インターンシップ実習風景	69~70
● インターンシップご協力をお願い	71

令和 6 年度インターンシッププログラムを終えて

関係機関の皆様

就職・進路部長 松本 幸一

平素より本学のキャリア教育にご理解いただき、また本年度のインターンシップ開催に多大なるご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

労働市場では人手不足が深刻化し昨今の雇用環境も急速に変化しているなか、こうした厳しい状況にもかかわらず企業及び諸団体・自治体の皆様におかれましては、実習生のお引き受けを頂きましたこと厚くお礼申し上げます。皆様のご厚意により、学生にとって有意な就業体験の機会を得ることができました。

高等教育機関である九州国際大学は、地域や社会の課題を皆様と共に解決し、新たな価値の創造への積極的な貢献が求められています。こうした取り組みを継続して行うことで、大学が地域等に支えられる機関として、地域に貢献する人材の育成に注力することができます。なかでもインターンシッププログラムは、学生が地域のすぐれた企業を理解するとともに、就職への意欲を高める重要な機会と位置づけております。

特にインターンシップは、業界や職種などに関する知識を得るだけでなく、社会人としてこれからの時代を歩み続けるため、自律的に何を習得すべきかについて学生が気付く機会にもなります。インターンシップでのあらゆる経験が学生の成長を促し、卒業後の社会人生活のなかにおいても大切な礎となるでしょう。関係機関の皆様におかれましては、お忙しい業務のなか様々なプログラムを組み込んで頂きましたこと、そして実習の場をご提供頂きましたこと改めてお礼申し上げます。

九州国際大学では地域社会への使命として、北九州地区を中心とした地元エリアへ就職を希望する学生へのマッチングを高めるため、今後とも教職員が一体となって取り組んでまいります。引き続き、学生へのご指導とご支援および本学キャリア教育活動へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和 7 年 1 月吉日

●インターンシップ概要

1.インターンシップスケジュール

3月下旬～
4月初旬

インターンシップ事前ガイダンス・オリエンテーション

■インターンシップに参加しよう!

■申込手続きデータ配信

4月～7月

事前研修

◆事前研修 1～7 ※全て対面にて実施

- 企業側の IS の狙い
- 自己分析、業界・企業研究
- 学内・企業提出用 ES 作成
- 企業・大学・学生間の「覚書」「誓約書」の作成
- 決定企業への連絡方法(電話・挨拶・初日の確認等)
- 事前訪問の心得
- 就業時の注意・トラブル防止等

■ライフワーク・実用ビジネスマナー研修(事前研修 1・6・7)

講師:社員教育接遇マナー研究所

代表 俵 純子 氏

8・9月

インターンシップ

■九州国際大学インターンシップ 68名

10月

事後研修

- グループワーク
- プレゼン発表
- 総評

講師:社員教育接遇マナー研究所

代表 俵 純子 氏

2.実習企業先一覧 (五十音順・敬称略)

	企業名	参加人数	法学部 法律学科	現代ビジネス学部 地域経済学科	現代ビジネス学部 国際社会学科
1	(株)石橋製作所	1		1	
2	子ども発達支援センター いっぽ	1	1		
3	エフコープ生活協同組合	1	1		
4	(株)エムピーエス	1		1	
5	(株)カウテレビジョン	3	1	2	
6	カウテレビジョン(あいのりインターン)	3	1	1	1
7	管清工業(株) 九州支店	1	1		
8	(一財)休暇村協会	1		1	
9	(株)九州マツダ	1			1
10	(株)共立メンテナンス	2	1	1	
11	(株)ギラヴァンツ北九州	2	2		
12	(株)グローバルマーケット	1			1
13	計測検査株式会社	2		2	
14	(株)サンキョードラッグ	4	3		1
15	(株)サンリブ	1		1	
16	(株)シティーライン	1	1		
17	(株)自由ヶ丘ドライビングスクール折尾	2	1		1
18	(株)しろみず	1	1		
19	第一交通産業(株)	1	1		
20	第一生命保険(株)	2	2		
21	大英産業(株)	2	1	1	
22	中間市役所	1	1		
23	(株)ナフコ	2		1	1
24	西鉄旅行(株)	1			1
25	西日本フード(株)	2		2	
26	日進化学(株)	1	1		
27	日伸産業(株)	1			1
28	日本生命保険相互会社 北九州支社	1	1		
29	(有)ファイン	2		2	
30	福岡県警察	3	1	1	1
31	(株)福岡中央銀行	3	3		
32	(株)富士ピー・エス	1		1	
33	双葉運輸グループ 双葉運輸(株)	2	1		1
34	防衛省自衛隊(福岡地方協力本部)	2	2		
35	丸三証券(株)	1		1	
36	(株)三好不動産	2		2	
37	山口三菱自動車販売(株)	1		1	
38	山十(株)	2			2
39	(株)ゆめマート	1		1	
40	(株)ラック	2	2		
41	リーガロイヤルホテル小倉	2	2		
42	(株)ルネ	1			1
合 計		68	32	23	13

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・地域経済学科		
実習先 名 称	株式会社石橋製作所		
実習期間	2024 年 8 月 19 日（月）から 8 月 21 日（水）まで	実習日数	3 日間
●全日程の具体的実習内容			
8/19(月) オリエンテーション、会社説明、工場見学 安全教育、五軸加工機体験「プレゼン」 8/20(火) 五軸加工機体験			
8/21(水) SDGs カードゲーム 「アウトサイドイン」体験 社会課題ビジネスモデル構築			
①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）			
今回のインターンシップは、自分自身に対するロールモデルの見直しに繋がりました。初めに、礼儀、挨拶、話を聞く姿勢はかなり良かったと自負しています。マナー講習で学んだことを思い出し、行動に移すことができた実感しました。反省点はグループワークの際に主体的に活動できなかったことです。周りの空気に飲まれてしまい、意見や内容を周りと合わせることの難しさを感じました。			
②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。			
社長や社員の皆様の話から、チームで働くということ、前に一歩踏み出すことの大切さを知ることができました。アマゾンなどの書籍販売サイトの台頭により街の本屋さんは数を減らし衰退しています。変化が激しい世の中で、どの業界、企業も生存戦略を模索しています。石橋製作所も、変化するニーズに対応する商品を開発し、前を進んでいると伺いました。自分自身も前を向き、日々変わる世界について考えることができる、良い気付きを得ました。			
③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。			
今回のインターンシップでは、スキル以外に働く姿勢についても学ぶことができました。基本は頼まれた仕事をこなすことが仕事の主軸ですが、石橋製作所では頼まれていない仕事も行い、その後実証プロジェクトを行うことで貢献していることを知りました。パーパスをより明確化することで、自らの意思で仕事を決定できると学びました。今後、私もパーパスを見つけ、相手に頼まれたことだけでなく、自分の「こうしたい」という意思を見つけないと感じました。			

九州国際大学インターンシップ

【実 習 レ ポ ー ト】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名 称	子ども発達支援センターいっぽ		
実習期間	2024 年 9 月 4 日（水） から 9 月 19 日（木） まで	実 習 日 数	5 日 間

●全日程の具体的実習内容

9/4(水) 3 歳～5 歳と遊ぶ 小学生と遊ぶ (鬼ごっこ,かくれんぼ,部屋の掃除)	9/12 (木) 3 歳～5 歳と遊ぶ,小学生と遊ぶ (ボルダリング,掃除)
9/5(木) 3 歳～5 歳と遊ぶ 小学生と遊ぶ (ロケット風船作り,鬼ごっこ,かくれんぼ, 部屋の掃除)	9/19 (木) 3 歳～5 歳と遊ぶ,小学生と遊ぶ (鬼ごっこ,かくれんぼ,部屋の掃除)
9/11(水) 3 歳～5 歳と遊ぶ 小学生と遊ぶ (読み聞かせ,ミニカー電車遊び,宿題点検)	

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

今回の児童発達支援センターいっぽでの実習を通じて、コミュニケーション力が少し向上したと感じます。特に、幼い子供たちと接する際には、目線を合わせ、笑顔で話すことを意識しました。最初はぎこちなかったものの、子供たちがどう喜ぶかを学び、一緒に遊ぶことが楽しく感じられました。しかし、名刺交換の際には、事前に練習していたにもかかわらず、思うようにいかず苦戦しました。この反省を生かして、今後はさらに練習を重ね、スムーズにできるようにしたいと考えています。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

実習を通じて、社会人のスキルとして「笑顔を絶やさないこと」と「視野の広さ」を実感しました。いっぽの職員の方々は、親御さんや子供たちに対して常に笑顔で接しており、そのおかげで朝から気持ちよく過ごせました。また、先生たちは同時に複数の子供たちと遊ぶ中で、争いや危険な状況が生じそうな場合にはすぐに対応し、事前にトラブルを防いでいました。この視野の広さは非常に印象に残り、社会人として重要なスキルだと感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

実習を通じて学んだ「笑顔の大切さ」と「メモを取る習慣」を今後に活かしたいと思います。いっぽの職員の皆さんは、常に笑顔で接しており、話しかけやすかったため、私も人と話す際には笑顔を心掛けたいと感じました。また、些細なことでもメモを取ることが大切だと学びました。子供たちの体調や状況を細かく記録し、保護者への報告をしっかりと行っている姿に感銘を受けました。今後はメモを活用し、細かいことにも気を配っていきたいです。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名称	エフコープ生活協同組合		
実習期間	2024年8月19日（月）から8月23日（金）まで	実習日数	5日間

●全日程の具体的実習内容

8/19(月) オリエンテーション・グループワーク
8/20(火) 配達同乗体験
8/21(水) 配達同乗体験
8/22(木) 青空市場同行
8/23(金) 実習の振り返り・プレゼン準備・発表

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

今回の5日間のインターンシップでは、目標としていたエフコープ生活協同組合の無店舗事業や業界全体への理解を深めることができました。また、自分が働く姿を具体的にイメージしながら取り組み、担当の方々に仕事や就職活動について質問できたことも大きな収穫です。一方で、迷惑をかけないようにと考えすぎた結果、自分から積極的に行動する勇気が足りなかった点は反省すべきところです。次回は自ら一歩踏み出し、より主体的に学びを得たいと思います。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

今回のインターンシップで社会人が身に付けていると感じたスキルは、コミュニケーション能力と知識です。コミュニケーション能力については、自分が話すだけでなく、組合員の方々の悩みを丁寧に聞き出す傾聴力があり、それが信頼関係の構築に繋がっていると感じました。また、知識に関しては、話す相手に応じて幅広いジャンルの話題に対応している様子を目の当たりにし、社会人として必要不可欠なスキルだと強く実感しました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回のインターンシップを通じて、自分から一歩前に出て行動する積極性と、相手の悩みを聞き出すコミュニケーション能力の重要性を学びました。自ら学び、行動する姿勢がなければ相手からの信頼は得られず、コミュニケーション能力があれば業務の効率化やサービス向上に繋がると感じました。この二つの力は、自分の意識次第でさらに伸ばせるものであるため、今後の就職活動だけでなく、日々の大学生活にも活かしていきたいです。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・地域経済学科		
実習先 名称	株式会社エムビーエス		
実習期間	2024年9月11日（水）から 9月13日（金）まで	実習日数	3日間

●全日程の具体的実習内容

9/11(水) 会社説明・技術説明
現場調査・積算・見積書説明
9/12(木) 現場調査、現場調査・寸法計算
9/13(金) 現場調査、現場調査

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

インターンシップに参加して得た成果は、エムビーエスに関する知識を深められたこと、営業職の知識を増やせたことです。
目的達成度は90点と感じます。営業職の業務に関する質問をして知識を増やすことができたのに加え、やりがいについても質問することができました。目的達成度の点数が上がっている要因は、支店長と3日間コミュニケーションをとり続けられたからです。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

社会人の方が身に付けていると感じたスキルは、電話対応時の声の明るさです。現場調査へ向かう際に、支店長とコミュニケーションをとれる時間が多くありました。そこで電話対応について質問すると、電話対応時には、声のトーンを上げて明るく対応するように気を付けていると教えていただきました。電話で会話をすると相手側の表情を見ることができないため、声に感情をのせているようでした。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回のインターンシップで学んだことは、「建設業界の知識」「やりがい」「会社の方針」についてです。建設業界の知識は業界研究をする際の企業比較で活かしたいと思います。やりがいについては、支店長目線のやりがいを質問で答えていただいたので、将来のキャリアを考える際に活かしていきます。エムビーエスの会社の方針は、「若いころから活躍させたい」と聞きました。企業研究の際にこの学んだことを活かし、視野を広げていきます。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・地域経済学科		
実習先 名称	株式会社カウテレビジョン		
実習期間	2024年8月28日（水）から 9月4日（水）まで	実習日数	5日間

●全日程の具体的実習内容

8/28(水) オリエンテーション・目標設定・企業選びのコツ 9/3(火) 3分企業研究制作
 8/29(木) 聴き上手ワーク・クルーヒアリング 9/4(水) 3分企業研究制作・社長対談・発表会
 8/30(金) 撮影、編集ワークショップ
 お部屋紹介動画制作

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

自分の意見を他人に伝えることができるようになりました。カウテレビジョンでは、会議のときに一人一発言のルールがあり、自分の感じたこと、思ったことを全員に共有することになっています。今回、社内の会議に同席する機会は無かったのですが、インターンシップ生同士が話し合う場面では積極的に発言できていたため、自己評価は高いと感じています。反省点は部屋紹介動画の発表の際、積極的に手を上げられなかったことです。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

参加した「聴き上手ワーク」では、取材の際にどのような質問をするか、どこを深掘りして細かく聞かなどを教えていただきました。このスキルはどの会社にも就職しても役立つし、日常会話でも使えます。最初は何も分からないまま取り組んでいたのですが、意外と難しく感じました。本当に聞きたいことを聞き出せなかったり、より深いところまで引き出すことができませんでした。この取り組みをクルーは自然に実行されているので、日頃から練習しているのだと実感しました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

撮影、編集の部分に関しては、プライベートの時間やプレゼン資料を作成する際に役立てていきたいです。社長対談の際、「何事も悲観にならずポジティブ 100%で生きていけば、人生それなりに楽しい」と仰っていました。人生経験が豊富な社長の言葉には説得力がありました。就職する企業を探すときも、無意識にネガティブな情報に目が行きがちですが、もう少しポジティブな情報に意識的に目を向けていこうと思いました。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・地域経済学科		
実習先 名称	株式会社カウテレビジョン		
実習期間	2024年8月28日（水）から 9月4日（水）まで	実習日数	5日間

●全日程の具体的実習内容

8/28(水) オリエンテーション・目的や目標設定
 8/29(木) 聴き上手ワーク・クルーヒアリング
 8/30(金) 撮影や編集技術ワーク・動画制作体験
 9/3（火）3分企業研究制作・3分企業研究リハーサル
 9/4（水）社長へのインタビュー・発表会

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

実習を通じて、目標設定や仕事のリサーチのコツ、撮影・編集技術に関する知識や経験を積み、映像制作に取り組みました。また、「聴き上手の10箇条」に基づいて、クルーの方々へのヒアリングに応用してみました。さらに、最終日の発表会では、チームの発表が社長とクルーの方々から2位の評価をいただきました。最初、自分の意見を発表することや動画編集の経験に不安を感じ、チームメンバーに少し頼りすぎてしまったことが反省点です。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

カウテレビジョンが大切にしている価値観や哲学を、朝礼の際、社長を含めた全員で意見共有し、目標設定や達成について話し合い、明確な計画を立てて主体性を持って仕事に取り組んでいることを知りました。最初は自信がなく、意見をうまく共有できませんでしたが、毎日クルーの方々に自分の意見を共有したり、相談したりすることで自信が持てるようになりました。「報告・連絡・相談」が大切にされていることを実感しました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回の実習を通じて、目標設定や「聴く」ということの大切さを実感しました。これからは、自分がやりたいことに対して毎日目標を設定し、明確な計画を立てて就職活動に取り組んでいこうと思っています。また、実習で学んだ「聴く」技術を日常生活や大学生活に活かし、他者と良好な関係を築きながら、コミュニケーションを図っていきたいです。カウテレビジョンの社風を体感し、就職活動ではクルーの主体性や職場の雰囲気をもっと重視したいと思いました。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名称	株式会社カウテレビジョン		
実習期間	2024年9月5日（木）から9月11日（水）まで	実習日数	5日間

●全日程の具体的実習内容

9/5(木) インターン生顔合わせ

社長からのメッセージ動画視聴

オリエンテーション

9/6(金) 3分企業研究作成

クレーヒアリング、聴き上手ワーク

9/9(月) 撮影・編集技術ワークショップ

9/10(火) 3分企業研究作成

9/11(水) 3分企業研究作成と発表

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

積極的に行動し、クレーの方々から会社や就活について話を伺い、しっかりメモを取ることが目標でした。今回の実習では多くの貴重な経験をさせていただきました。その中で、インタビューの仕方や人との話し方・聴き方に関する講座もあり、それを参考にしながら、知りたかったことを具体的に聞くことができました。また、一人のクレーだけでなく、複数の方に積極的に話を伺い、学びを深めることができました。今回のインターンシップは非常に有意義で、得るものが多かったと感じています。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

協調性や社交性だと強く感じました。クレーの皆さんは一人ひとりが積極的にコミュニケーションを取り、社内の雰囲気はとても明るい印象を受けました。これは、個々では難しい業務でもチームで解決するという、チームワーク重視の社風だからだと分かりました。協調性や社交性が欠けると、業務が滞ったりミスに繋がる可能性があるため、これらは社会人にとって必須のスキルだと実感しました。今回の経験を通じて、私もこれらのスキルを身につけ、活かしていきたいです。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

コミュニケーションの取り方を基盤に、話し方や聴き方のマナー、社会人に必要なスキルについて多くを学びました。また、動画編集や撮影技術といった専門的なスキルも身につけることができました。これらは、就職活動だけでなく、日常生活でも役立つ力だと感じています。特に、人と接する場面やパソコン操作が求められる際には積極的に活かしたいです。さらに、学んだことを意識し、日ごろから話し方や聴き方に気を配り、より良いコミュニケーションを心掛けていきたいです。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・国際社会学科		
実習先 名称	株式会社カウテレビジョン(あいのりインターン)		
実習期間	2024年9月2日(月) から9月6日(金) まで	実習日数	5日間

●全日程の具体的実習内容

9/2(月) オリエンテーションについて

9/5(木) 株式会社コザキについて

9/3(火) サンポー食品について

9/6(金) 国際経営について

9/4(水) 弁護士事務所について

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

5日間を通して、様々な業界を詳しく知るという目標は達成できました。初の zoom 参加には少し苦戦しました。

対面で話すのとは違い、場の雰囲気を感じながら発言していくのが難しく、対面ではうまくいくグループワークも思うように

いかない場面が多々ありました。今回 zoom での話し方などを学ぶことができたので、良い経験が出来たと思います。

反省点は、zoom でうまく対応できなかったことですが、全体的に自己評価は高得点だと思います。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

社員の方と私たち学生の表情について画面越しに気付いたことはリアクションです。見比べていると、大きくリアクションを

している社員の方々の方が、私たち学生に比べてとても好印象でした。無表情でうなずきもなく話を聞いている人を見ると

やる気があるのか分からなくなり、話していると不安になりました。このリアクションの違いが、社会人と私たち学生の決定的

な差だと感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回はカウテレビジョンさんが紹介して下さった五社の企業のインターンシップに参加しました。今まで興味の湧かない

業界の説明は受けたことはありませんでしたが、聞いてみるとそこでしか知ることができない情報を入手する機会もあるという

ことを知りました。結果的に、業界について詳しく知るだけでなく、これから自分にとって重要なものを見つけるための視野

の広げ方を学びました。この経験を就職活動で活かしていきたいです。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名称	株式会社カウテレビジョン(あいのりインターン)		
実習期間	2024年9月2日(月)から9月6日(金)まで	実習日数	5日間

●全日程の具体的実習内容

9/2(月)オリエンテーション・チーム活動・企業情報ワーク	9/5(木)株式会社こざき (会社説明・リモート見学・業務体験)
9/3(火)サンポー食品株式会社 (会社説明・リモート見学・業務体験)	9/6(金)国際経営株式会社 (PASONAの法則・発表・座談会)
9/4(水)弁護士法人大野慶樹法律事務所 (会社説明・業務体験・法律相談)	5日間のまとめ発表・感想・まとめ

①実習を通しての成果・目的達成度(自己評価と反省)

実習を通して様々な業種や業界について知ることが出来ました。毎回異なる企業のインターンシップに参加することで、知らなかったことや社会人に求められるスキル、業務内容について学ぶことが出来き、将来の選択肢を広げることに繋がりました。またグループ活動では斬新なアイデアを出すことで、他のグループと異なった意見を述べる事が出来て嬉しかったです。発表の時に言葉が詰まることがあったので、焦らずに丁寧に発表したいと思いました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

社会人が身に付けていると感じたスキルは、「常に笑顔で丁寧に受け答えをする」です。オンラインでは表情が固くなったりコミュニケーションが難しくなるのではないかと考えていましたが、実際には私たちが質問や発表をしている際、常に笑顔で、質問に対して詳しく受け答えをしていました。笑顔で接することは、相手に良い印象を与えるだけでなく、自分自身や相手にとっても楽しい機会になると思います。今後は常に笑顔で受け答えができるようになりたいと感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回のインターンシップで学んだ「聴く」というスキルを、今後の大学生活や就職活動に活かしていきたいと考えています。聴き上手になるための法則を知り、それを実践することで、話の内容をしっかりと理解するだけでなく、コミュニケーションを円滑に取ることができました。聴くことは、今後の生活や仕事において重要な役割を果たす行為であり、特に大学生活や就職活動において大いに活かせると思います。今後は「聴く」ことを意識し、積極的に実践していきたいです。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・地域経済学科		
実習先 名 称	株式会社カウテレビジョン(あいのりインターン)		
実習期間	2024 年 9 月 2 日 (月) から 9 月 7 日 (金) まで	実 習 日 数	5 日 間
●全日程の具体的実習内容 9/2(月) 初日オリエンテーション 9/3(火) 株式会社 SYSKEN 様でのインターンシップ (事業説明・会社案内・質問コーナー) 9/4(水) 株式会社丸菱ホールディングス様での インターンシップ (会社説明・事業説明・座談会) 9/5(木) 株式会社ルルアーク様でのインターンシップ (事業説明・会社案内・質疑応答) 9/6(金) 株式会社ハウディ様でのインターンシップ (事業説明・会社案内・営業体験) リフレクション			
①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省） 今回のインターンシップを通して、自分の設定した目的であるリアクションと質問を積極的に行うことができました。なかでも担当者様から「反応が良いね」と褒められたときは、自分のリアクションがしっかりと伝わっていることが分かりました。また、チーム単位でプレゼンを行った際に、スライド作りやチームの意見を纏めるなど中心となって動くことができました。自分の目標を達成できた有意義なインターンシップとなりました。			
②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。 私が感じたスキルは様々な視点を持っているという事です。今回、営業体験で自分の好きなものを紹介する機会があり、電子レンジでパスタが作れる容器を紹介しました。私が主に目を付けた点は、お手軽さや後片付けの少なさでしたが、その後のコメントで「災害時にも持ち運びが便利そうだし、使えそうだね」と評価を頂きました。私はこの点を全く話していなかったため、小さなことでも活かすポイントを見つける視点を持っていると感じました。			
③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。 今回のインターンシップでは、自分がまだ知らなかった企業や業界を知ることができました。インフラ系統や食品関係の業界を知ることができたため、そういった方面にも興味が湧きどのような企業があるのかを調べ始めました。今まで自分の興味のある企業しか調べていませんでしたが、調べ始めるとインターンシップでお世話になった企業様以外にも目を引かれる業種が多くあったため、今後私が就職活動をする際に参考にしていきたいと考えています。			

九州国際大学インターンシップ

【実 習 レ ポ ー ト】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名 称	管清工業株式会社		
実習期間	2024 年 9 月 9 日（月） から 9 月 1 2 日（木） まで	実 習 日 数	4 日 間

●全日程の具体的実習内容

9/9（月） 会社説明、報告書作成、施設見学
 9/10（火） 公共現場見学
 9/11（水） 模擬現場を調査、メンテナンス
 9/12（木） 排水管メンテナンス、雑談会

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

実際の下水道管の点検作業に立ち会う機会をいただき、現場での業務を理解することができました。特に、安全管理の重要性や設備の管理方法について学び、理解を深めることができました。また、持続可能なインフラ管理への理解や、日常的な保安業務の流れについても幅広く学ぶことができました。今回の 4 日間の実習では、下水道の管理業務を一から学ぶという目標を達成できたと考えています。この経験を今後の学びやキャリアに活かしていきたいと思います。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

社会人が身に付けていると感じたスキルは、コミュニケーション力です。現場見学に行った際に、担当の方が積極的に地域の方々に挨拶をされていて、職場のコミュニティや雰囲気を垣間見ることが出来ました。また、取引先の会社の方や下請業者の方との連携、やり取りを通じて、技術的なスキルはもちろん円滑なコミュニケーションや柔軟な考え方などを学ぶことができました。これからは、そのスキルを身に付けようと思いました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

インターンシップ中に学んだ現場でのコミュニケーションスキルを、将来の自分の持ち味として活かしていきたいです。特に、技術者同士だけではなく、異なる専門分野や業種の人々と連携しながら、問題解決を図る力をさらに伸ばしていきたいと考えています。今回のインターンシップで得た経験と知識は、これから別の分野でも必要となると強く感じましたので、地域社会に貢献できるように取り組みたいと考えています。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・地域経済学科		
実習先 名 称	一般財団法人休暇村協会 休暇村志賀島		
実習期間	2024年8月10日（土）から 8月22日（木）まで	実習日数	10日間

●全日程の具体的実習内容

8/10(土)～14(水)	8/17(土) サービス実践（あいらん堂、フロント）
レストランサービス実践（ランチ）	8/18(日) サービス実践（あいらん堂、フロント）
サービス実践（席への案内、片付け）	8/19(月) サービス実践（フロント、売店）
8/15(木) サービス実践（フロント、売店）	8/21(水) サービス実践（フロント、レストランサービス）
	8/22(木) サービス実践（フロント、売店）

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

十日間を通して、さまざまな職場で新しいことを体験し、経験を積み、学ぶことができました。レストラン業務の際、お客様を席に案内しながら、ソフトドリンクやコーヒー、トレイの場所も案内しました。また、お客様が食事中に困っていることや注文したいことがあれば、すぐに駆けつけて対応することもできました。反省として、不慣れな作業が多く先輩の指示が聞き取れなかったことが挙げられます。作業の効率が悪かった点については、創意工夫をして改善していこうと思いました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

社会人が身に付けていると感じたスキルには、観察力やコミュニケーションスキルがあります。周りの社員がブッフェ形式のレストランで働いている際には、お客様が必要とするものや料理を観察しながら、交換や補充を行っていました。私も見習い、視野を広げました。お子様や移動が不自由なお客様に対しては、観察しながら、取りやすいものを手伝いました。また、自分が対応できないことや困難な状況に直面した場合は、直ぐに周りの社員に連絡して意見を求めています。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

私はこのインターンシップで、周りの社員とのコミュニケーションや観察力が大切だと学びました。インターンシップでは、「報告・連絡・相談」が徹底されており、お客様に良いサービスを提供しつつ、周りの社員とも新しい関係を築くことができました。今回の実習で体験したことや学んだことを踏まえ、今後は丁寧な言葉遣いや周りの人々への挨拶、コミュニケーションを日常生活や大学生活、アルバイト、就職活動で心掛けていきます。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・国際社会学科		
実習先 名称	株式会社九州マツダ		
実習期間	2024年8月31日（土）から9月2日（月）まで	実習日数	3日間

●全日程の具体的実習内容

8/31(土) オリエンテーション・会社概要の説明・見学
 9/1（日）店舗実習（就業体験）
 9/2（月）模擬面接練習・座談会・振り返り

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

実習を経て、「営業職」はお客様と一番近い関わりを持っており、会社独自のサービスを通してファンづくりに徹底していることを知ることができました。就業体験では実際に社員の一員となって、自ら積極的にスタッフの方に質問をしたり、お茶出しの際にお客様とコミュニケーションをとることができました。その中で、視野の狭い行動が多々あったことが反省点として挙げられます。店舗内全体に視野を広げ、自分の役割を探して、迅速に動けていたらよりよい働きになっていたと感じます。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

仕事と向き合う社会人の姿勢を間近で見て、基本となるビジネスマナーやお客様に対しての気持ち、商品に対しての思い、一つひとつの丁寧な所作は、営業を行う上で必要となる高い「意識」からあるものだと感じました。集合時間よりも少し早めに行き、朝礼に参加した際、「チームでの目標達成に向けて本日もみんなで頑張っていきましょう。」という声掛けがありました。九州マツダの皆さんはチーム制のカーライフアドバイザーであるという強い意識を持っており、かっこよかったです。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回インターンシップに参加し、働く社会人を目の当たりにして、自分自身の社会についての考え方や就職活動に対する心構え・意識が不足していることに気付きました。まずはこの気付きを無視せずしっかりと受け止めることが自身の成長に繋がると考えています。今後は、積極性を忘れることなく、できる準備を徹底的に行いたい。また、参加したことに満足するだけでなく、参加して学んだ事柄を整理し、自分なりに良く吸収できるような器づくりに努めていきたいと考えています。

九州国際大学インターンシップ

【実 習 レ ポ ー ト】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名 称	株式会社共立メンテナンス		
実習期間	2024 年 9 月 9 日（月） から 9 月 1 3 日（金） まで	実 習 日 数	5 日 間

●全日程の具体的実習内容

9/9(月)オリエンテーション、インスペクション体験
荷物入れ体験

9/10(火)システム説明、チェックイン体験、お客様対応
チェックアウト体験、ベッドメイク体験
チェックインロールプレイ

9/11(水)チェックアウトフォロー、大浴場オープン
荷物預かり、忘れ物処理

9/12(木)内線・外線体験、大浴場巡回
9/13(金)駐車場案内、夜鳴きそば作り

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

本実習では、職員の方々と同様に実際にお客様への接客を担当させていただく機会を頂きました。そこで、実習先やお客様にご迷惑をおかけしないよう努めることを目標に、インターンシップに参加しました。外国からのお客様に英語で対応する必要があり、最初はぎこちない場面もありましたが、最終的には丁寧な接客ができていたと感じています。また、接客業務だけでなく、客室や大浴場のチェックを職員の方から任されるようになり、現場に貢献できたことを嬉しく思っています。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

社会人が身に付けていると感じたスキルの一つは、臨機応変に対応する力だと思いました。具体例として、お客様が予約されていた部屋に不備があった際、迅速に別の部屋を手配する姿が印象的でした。また、問題のある部屋を確認し、清掃業者の方々と協力して解決にあたる様子も目にしました。その上で、お客様の要望にできる限り応えようとする姿勢を見ると、柔軟性と迅速な対応力だけでなく、相手を思いやる気持ちも求められるスキルであると感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回のインターンシップを通して、ホテル業務の大変さとやりがいを学びました。私が参加したドリーミンホテルでは、ビジネスホテルの特性上、フロントスタッフが接客だけでなく、客室点検や駐車場案内、レストラン運営など多岐にわたる業務を担当していました。毎日多くのお客様が利用するため忙しい職場でしたが、こうした多業務をこなす中で自身の成長を感じられる職業であると実感しました。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・地域経済学科								
実習先 名称	株式会社共立メンテナンス								
実習期間	2024年9月9日（月） から9月13日（金）まで	実習日数	5日間						
●全日程の具体的実習内容 <table border="0"> <tr> <td>9/9(月) オリエンテーション、清掃確認、荷物入れ 体験システム説明、CO/C 荷物預かり説明</td> <td>9/11(水)チェックイン・アウトフォロー、荷物預かり 大浴場・レストランオープン、座談会</td> </tr> <tr> <td>9/10(火)チェックイン準備説明、お客様対応、 チェックアウト体験・荷物預かり、リネン庫説明</td> <td>9/12(木)清掃確認・荷物入れ、チェックインフォロー お客様対応、電話体験、大浴場巡回、座談会</td> </tr> <tr> <td>ベッドメイク体験、チェックインロープレ・座談会</td> <td>9/13(金)清掃確認、荷物入れ、大浴場オープン・巡回 チェックインフォロー、電話練習・駐車場案内 座談会・夜泣きそば体験</td> </tr> </table>				9/9(月) オリエンテーション、清掃確認、荷物入れ 体験システム説明、CO/C 荷物預かり説明	9/11(水)チェックイン・アウトフォロー、荷物預かり 大浴場・レストランオープン、座談会	9/10(火)チェックイン準備説明、お客様対応、 チェックアウト体験・荷物預かり、リネン庫説明	9/12(木)清掃確認・荷物入れ、チェックインフォロー お客様対応、電話体験、大浴場巡回、座談会	ベッドメイク体験、チェックインロープレ・座談会	9/13(金)清掃確認、荷物入れ、大浴場オープン・巡回 チェックインフォロー、電話練習・駐車場案内 座談会・夜泣きそば体験
9/9(月) オリエンテーション、清掃確認、荷物入れ 体験システム説明、CO/C 荷物預かり説明	9/11(水)チェックイン・アウトフォロー、荷物預かり 大浴場・レストランオープン、座談会								
9/10(火)チェックイン準備説明、お客様対応、 チェックアウト体験・荷物預かり、リネン庫説明	9/12(木)清掃確認・荷物入れ、チェックインフォロー お客様対応、電話体験、大浴場巡回、座談会								
ベッドメイク体験、チェックインロープレ・座談会	9/13(金)清掃確認、荷物入れ、大浴場オープン・巡回 チェックインフォロー、電話練習・駐車場案内 座談会・夜泣きそば体験								
①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省） 今回のインターンシップを通して、多くのことを得ることができました。一つ目は、コミュニケーション能力です。お客様に丁寧かつ簡潔に館内の事や疑問点を説明することができました。反省点は言葉遣いです。ビジネス用語が出てこず、お客様とのコミュニケーションが疎いた場面がありました。その他の反省点についても、実習期間中にフィードバックを行い、何をどのよう改善していけば良いのか考え実行した点は、自分自身で評価できる点だと感じました。									
②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。 社会人が身に付けていると感じたスキルは、相手の事を考えることと、臨機応変な対応能力だと思いました。インスペクションという清掃確認をしている際に、お客様が快適に過ごそうお客様に立ち、細かい点まで確認してました。フロント業務では、お客様の要望に少しでも応えることができるように、数多くの選択肢をお客様に提案することでお客様に不快感や不安感などを持たれない対応をしていたことが工夫されていると思いました。									
③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。 インターンシップを通して、自分自身の短所を改めて知ることができました。私の短所は、言葉遣いとビジネスマナーが全く身に付いていないことです。言葉遣いはこれからの大学生活でも意識していく事で変わると思いました。特に、敬語を勉強することが大切だと感じました。ビジネスマナーは事前に勉強したつもりでしたが、実際に行くと全然出来ていなかったのも、今後も様々な場面で意識していこうと思いました。									

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科				
実習先 名 称	株式会社ギラヴァンツ北九州				
実習期間	2024 年 9 月 3 日（火） から 9 月 7 日（土） まで	実 習 日 数	5 日 間		
●全日程の具体的実習内容 <table border="0"> <tr> <td>9/3(火)オリエンテーション、クラブ概要、普及事業概要 チケット・ファンクラブ関連等、パートナー関連等 社会連携推進活動概要 運営・広報事業概要、グッズ等</td> <td>9/4(水)他クラブの研究、営業回り、事務作業 9/5(木)地域貢献、集客会議 9/6(金)集客案の考察、前日準備 9/7(土)試合運営</td> </tr> </table>				9/3(火)オリエンテーション、クラブ概要、普及事業概要 チケット・ファンクラブ関連等、パートナー関連等 社会連携推進活動概要 運営・広報事業概要、グッズ等	9/4(水)他クラブの研究、営業回り、事務作業 9/5(木)地域貢献、集客会議 9/6(金)集客案の考察、前日準備 9/7(土)試合運営
9/3(火)オリエンテーション、クラブ概要、普及事業概要 チケット・ファンクラブ関連等、パートナー関連等 社会連携推進活動概要 運営・広報事業概要、グッズ等	9/4(水)他クラブの研究、営業回り、事務作業 9/5(木)地域貢献、集客会議 9/6(金)集客案の考察、前日準備 9/7(土)試合運営				
①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省） 私は担当して下さった社員の方に必ず 1 つは質問をすることを目標にインターンシップに参加しました。結果として全員に質問することはできませんでしたが、気になったことは質問することができました。社員の方とたくさんコミュニケーションをとれた点は良かったと思います。反省点は、初日のオリエンテーションで終日座りっぱなしだったこともあり、集中力が欠けてしまっていた時間があった点です。					
②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。 社会人が身に付けていると感じたスキルは、リーダーシップ力です。試合の前日準備で、当日の作業効率を上げるために何をどこに運んでおけば良いかの指示出しを的確に行い、当日は社員の方だけでなくイベントスタッフやボランティア、アルバイトなど、大勢の人のまとめ役をしていたからです。そして役職や年齢に関係なく、全員が対等にコミュニケーションをとり協力していたことが、とても重要なスキルであったと感じました。					
③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。 今回のインターンシップで特に学んだことは、礼儀と常識の重要性です。このインターンシップには他大学からの参加者もいましたが、その学生は担当の方が話をしてくださっている時に携帯を触ったり、私語をしたりと、見ていて気分が良いものではなく、社員の方々も「注意するべきか迷った」「損をするのはあの人たちだから」と仰っていました。社会に出ると注意されないのだと学びました。					

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名称	株式会社ギラヴァンツ北九州		
実習期間	2024年9月3日（火）から 9月7日（土）まで	実習日数	5日間

●全日程の具体的実習内容

9/3(火) オリエンテーション・各部署の説明
 9/4(水) 営業に同行、チラシを封筒に入れる手伝い
 9/5(木) 集客会議・畑作業
 9/6(金) 集客会議・スタジアムに荷物運び
 9/7(土) ホームゲーム撤収作業・チケット販売

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

今回のインターンシップでは、Jリーグ公式戦の開催準備や運営に携わり、スポーツビジネスの裏方業務を体験しました。集客会議に参加し、自分の意見を発信できたことや、ホームゲームでチケット販売を慌てずに行えたことが成果です。また、ギラヴァンツの魅力を伝える方法を考えながら、実際にどのように集客に貢献するかを学びました。この経験を通じて、現場での対応力やチームワークの重要性を再認識しました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

挨拶や説明をわかりやすくハキハキと行い、コミュニケーションを取る重要性を実感しました。営業同行時には、メリットを伝える話し方や、表情やスピードを調整して、相手に伝わりやすいように話す力を学びました。また、集客会議での発言を通じて、企画力や発信力、アイデアの発想力が必要であることも実感し、社会人として必要なスキルを感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

Jリーグ公式戦の開催準備や撤収作業を通じて、スタッフの重要性を感じました。試合を円滑に進めるためには、裏方の業務がどれほど大切かを実感しました。また、企画力、発想力、コミュニケーション力、発信力が必要だと感じたので、ゼミやアルバイトで積極的にコミュニケーションを取ることに取り組み、伝えたいことを工夫して伝えられるように努力していきたいとします。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・国際社会学科		
実習先 名 称	株式会社グローバルマーケット		
実習期間	2024 年 8 月 22 日（木）から 8 月 24 日（土）まで	実 習 日 数	3 日 間

●全日程の具体的実習内容

8/22(木) 朝礼・掃除 オリエンテーション 会社概要の説明 世の中あれこれ講座 営業同行・振り返り	8/23(金) 経理課の説明 資産管理事業部の説明 営業同行・振り返り 8/24(土) 物件探し・営業同行 物件の間取り図作成・振り返り
---	--

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

今回の実習では、社員の方々に同行し、お話を伺いながら間近で業務を体験させていただくことで、不動産業についてだけでなく、仕事のやりがいについても学ぶことができました。実習中は、明るく元気な挨拶と積極的な行動を心掛けていました。初めてのインターンシップで初日は緊張しましたが、しっかりとメモを取り、疑問点や質問なども積極的に行うことができました。社員の方々をみて、私には文章力やトーク力が足りていないと感じました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

コミュニケーション能力やトーク力が身に付いていると感じました。社員同士でコミュニケーションを取ることで、社内に活気が溢れ、気持ちよく仕事ができることを体感できました。また、お客様の立場に立って成約までの過程を考えて行動されていることや、どうすれば結果を出せるかを考えて業務にあたっていることを知りました。そこに、プロ意識を感じました。不動産業に関する知識もしっかりと身に付け、お客様に寄り添った提案や心配りが信頼を得ることに繋がっていくのだと思いました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回のインターンシップでは、挨拶や積極的な行動、お客様の立場に立った考えや周囲への気遣いの大切さなど沢山のことを学びました。社員間やお客様との信頼関係の構築のためにも、コミュニケーション能力は重要で、目先のことだけでなく、視野を広げて考え、取り組むことも社会人として必要なスキルだと感じました。今回学んだことを日常生活の中で意識して取り入れ実行し、社会人になるための準備や今後の就職活動に活かしていきたいです。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・地域経済学科																
実習先 名称	計測検査株式会社																
実習期間	2024年8月21日（水）から 8月27日（火）まで	実習日数	5日間														
●全日程の具体的実習内容 <table border="0"> <tr> <td>8/21(水) オリエンテーション・社屋案内</td> <td>8/23(金) 現場作業についての説明</td> </tr> <tr> <td>8/22(木) 検査部についての概要説明</td> <td>MIMM-S・レーザー打音説明</td> </tr> <tr> <td>非破壊検査業務体験(PT・MT)</td> <td>8/26(月) 計測部についての説明</td> </tr> <tr> <td>解析グループについての概要説明</td> <td>ひずみゲージ貼り・計測器での測定体験</td> </tr> <tr> <td>トイドローン操縦体験</td> <td>橋梁点検について</td> </tr> <tr> <td>8/23(金) 調査部についての概要説明</td> <td>8/27(火) 実習成果発表</td> </tr> <tr> <td>画像作成体験</td> <td></td> </tr> </table>				8/21(水) オリエンテーション・社屋案内	8/23(金) 現場作業についての説明	8/22(木) 検査部についての概要説明	MIMM-S・レーザー打音説明	非破壊検査業務体験(PT・MT)	8/26(月) 計測部についての説明	解析グループについての概要説明	ひずみゲージ貼り・計測器での測定体験	トイドローン操縦体験	橋梁点検について	8/23(金) 調査部についての概要説明	8/27(火) 実習成果発表	画像作成体験	
8/21(水) オリエンテーション・社屋案内	8/23(金) 現場作業についての説明																
8/22(木) 検査部についての概要説明	MIMM-S・レーザー打音説明																
非破壊検査業務体験(PT・MT)	8/26(月) 計測部についての説明																
解析グループについての概要説明	ひずみゲージ貼り・計測器での測定体験																
トイドローン操縦体験	橋梁点検について																
8/23(金) 調査部についての概要説明	8/27(火) 実習成果発表																
画像作成体験																	
①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省） 今回の実習では、企業理解を深めることを第一の目標とし、最低二人の社員の方にお話を伺おうと考えていました。 結果、五日間の実習にて三つの主な部署を回らせていただき、各部署の方に自ら質問を行い、職場の雰囲気や、業務における思いなどリアルな話を聞くことができ、会社への理解を深めることができました。また、業務体験の際には自分から進んで挑戦したり、社員の方と対話をしたりと、前回より積極的に動くことができたと感じています。																	
②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。 部署内を拝見させていただいた際に、若手社員の方が上司の方に「ここを教えてください」と話しかけていたり、社員同士で教え合ったりしている姿が印象的でした。日々の業務の中でより技術や業務への理解を深めようと周囲の方に協力を求めて解決している部分に一人で解決せず周囲の人にも頼る力を身に付けていると感じました。また、業務説明を受ける中でも部署内での情報共有を徹底しており、その点からも報・連・相といったスキルが染みついていると感じました。																	
③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。 実習中、どの社員の方も私たちの質問に快く答えて下さったことに対して、担当の方が「一生懸命取り組んでいたからだ」と仰っていました。改めて自身の行動は良くも悪くも他の人からしっかり見られているのだと学びました。その為、何事においても一生懸命に取り組む姿勢を崩さずに、今後はより一層自身の言動に気を付けていきたいです。また、今回の企業の社員の方の様に日々成長する意欲を持つことも大切にして、様々な事に挑戦していきたいです。																	

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・地域経済学科		
実習先 名称	計測検査株式会社		
実習期間	2024年8月21日（水）から 8月27日（火）まで	実習日数	5日間

●全日程の具体的実習内容

8/21(水) オリエンテーション・社屋見学・自己分析
 8/22(木) 検査部業務体験
 8/23(金) 調査部業務体験
 8/26(月) 計測部業務体験
 8/27(火) 資料作成準備・成果発表

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

実習前に、八名の方に入社動機ややりがいについて何うという目標を立てていましたが、期間中二名の方にしか聞けずに終わってしまったことが反省点です。業務についての質問を問われた際に、当初より質問することが増えた点は良い点だと思います。また、インターンシップの参加目的である実際の職場内の雰囲気を感じることや視野を広げること、地域貢献とは何かについて理解することなども達成できたと感じています。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

今回、実習中に検査機械に不具合が発生して、検査の様子が見られない状況がありました。しかし、すぐに別の方法で検査の様子を拝見させていただいたり、疑似体験をさせていただいたりしたことから、臨機応変に対応するスキルを実感しました。また、実習中も担当の方が逐一時間を計っていたり、確認していた様子が見られたのに加え、他の部署で実習をしていた参加者の成果発表も聞いており、時間内に仕事を終わらせる管理スキルを身に付けていると感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回のインターンシップでは、インターンシップ独自の雰囲気を実際に感じたり、一つ一つの仕事に対する姿勢を学んだりすることができた一方で、社会人の方の近くで仕事を体験することで自分のスキル不足を実感しました。社会人の仕事に対する姿勢はどの会社でも変わらないと思うので、私も同じような姿勢で取り組んでいきたいと思っています。またスキル不足を感じた点は一年間で伸ばして、来年のインターンシップに活かしていきたいと考えています。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・国際社会学科		
実習先 名称	株式会社サンキュードラッグ		
実習期間	2024年9月7日（土）から9月12日（木）まで	実習日数	6日間

●全日程の具体的実習内容

9/7(土) オリエンテーション・実習課題について	9/10(火) プレゼン作成
9/8(日) 店舗視察	9/11(水) プレゼン、最終確認
9/9(月) 店舗視察、プレゼンの極意について	9/12(木) 新企画立案会議

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

私はこの実習を通して伝える力を鍛えることができました。しかし反省すべき点もありました。この実習では六日間で企業が実行したくなるような企画を立案するために、視察や研修を受けて考えを導き出すというものでした。この企画はただ立案するのではなく誰をターゲットにするのか、継続するための工夫など、様々な視点から物事を考える必要がありました。時間に余裕を持つことができなかったため、計画的に行動することが新たな課題だと感じました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

今回は採用育成部の方からの指導を受けながらインターンシップを行いました。グループで新しい企画を考え、企画が行き詰まってしまった際も、どこが問題なのか一緒に考えていただき社会人目線のアドバイスを頂くことができました。また、いつも笑顔でどんな時も明るく元気に接している姿を見て、コミュニケーション能力にも長けていると感じました。私にはないスキルをたくさん持っており、感銘を受けました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

私はこの実習で相手に伝える力を鍛えることができ、実際にプレゼンでは人材担当職員の方からもお褒めの言葉を頂くことができました。そこで、就職活動においてこの能力を活用させたいと思います。なぜこの企業に就職したいのかを正確に伝えることで、内定に繋がると考えました。また就職した後においても、プレゼンする際にこの能力を活用することで、会社に貢献できる人材になりたいです。この学びを忘れないよう、日頃から取り入れたいと思います。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名称	株式会社サンキュードラッグ		
実習期間	2024年8月17日（土）から 8月22日（木）まで	実習日数	6日間

●全日程の具体的実習内容

8/17(土)オリエンテーション、インターンシップ説明 2日目以降に向けてのグループ活動	8/20(火)プレゼンテーションスキルアップ講座 最終日に向けての発表準備
8/18(日)視察・調査準備 視察・調査(ジアウトレット周辺)	8/21(水)最終日に向けての発表準備 予行練習
8/19(月)相手の目線に立った価値の伝え方講座 視察・調査(小倉駅周辺)	8/22(木)演習発表、総括 結果発表と振り返り

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

実習を通して、プレゼンのノウハウやマーケティングのやり方、グループワークでは情報と方向性の共有、作業の役割分担が重要であることを学びました。私は自分のことを人見知りだと思っていましたが、実習中に意外と人と話すことができていたため、長所が一つ増えたと感じました。反省点は自分の考えをチームメイトに主張する際、控えめになっていた点と質問を求められたときに自主的に手を挙げるができなかった点です。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

常に笑顔で良好な雰囲気を作る技術を身に付けていると感じました。グループワークでプレゼンのテーマを悩んでいた際に何度も相談に行ったにも関わらず、その度に笑顔で快く引き受けていただき、とても相談しやすい雰囲気でした。会話中の笑顔が重要であることを実感しました。また、要点を整理し視覚化する力や、敬語の使い方なども洗練されていて、学生と社会人の違いは笑顔の質と基本的なスキルの洗練さにあると学びました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

最終日前日までプレゼンのテーマが決まらず、パワーポイントや原稿作成を三人で徹夜で取り組みました。私は途中で「もうこれで十分だ」と思う瞬間が何度もありましたが、他の二人は手を抜かず「まだ良くなる」と言いながら熱心に作業を続けていました。二人は優勝を目指すというより、より良いものを作りたいという強い意志で取り組んでおり、その熱意に刺激を受けて私も最後まで頑張ることができました。妥協せず最善を追求する姿勢を今後の人生で大切にしたいです。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部法・律学科		
実習先 名 称	株式会社サンキュドラッグ		
実習期間	2024 年 8 月 17 日（土）から 8 月 22 日（木）まで	実 習 日 数	6 日 間

●全日程の具体的実習内容

8/17(土)オリエンテーション・店内見学・演習課題発表	8/20(火)プレゼン講義・市場調査・プレゼン発表準備
8/18(日)連絡事項・八幡東エリア周辺視察	8/21(水)プレゼン発表準備・予行練習
8/19(月)価値伝達講座・小倉エリア周辺視察	8/22(木)プレゼン発表・結果発表・振り返り

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

今回のインターンシップでは、新規顧客獲得を目指した商品企画やサービス提案のグループプレゼンに取り組みました。始めは学年が異なる学生とコミュニケーションを取ることに不安がありましたが、グループで意見を交換し、自分の意見をしっかりと伝えることができました。この 6 日間を通じて課題発見力とやり遂げる力を得られたと感じます。しかし、プレゼン時には緊張し言葉が詰まってしまったため、その点を反省しています。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

社会人として大切だと感じたスキルは、傾聴力と発信力です。社員の方々は、明るい表情で挨拶をし、皆の顔を見ながら分かりやすく説明をしていました。また、質問には目を見て丁寧に答えてくれ、コミュニケーション力の高さを実感しました。グループ活動を通じて、リーダーシップを発揮し、意見を引き出して課題に取り組む姿勢が印象的でした。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

グループ活動を通じて、他大学の学生と協力しながら商品提案を行いました。現状報告や質問を社員の方々に行い、アドバイスを受けて改善を重ねました。この経験から、協調性や柔軟性、コミュニケーション力の大切さを学びました。今後、ゼミやグループ活動においても異なる意見を持つ人と協力し、より良い結果を出せるように取り組みたいと思います。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名称	株式会社サンキュドラッグ		
実習期間	2024年8月17日（土） から8月22日（木） まで	実習日数	6日間

●全日程の具体的実習内容

8/17(土) 自己紹介・平野店見学・演習の説明 演習チーム編成と活動	8/20(火) プレゼン講義・プレゼン作り
8/18(日) 市場調査（八幡東区エリア）	8/21(水) 予行練習・プレゼン作り
8/19(月) 価値伝達講座・市場調査(小倉エリア)	8/22(木) プレゼン発表

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

私は実習を通して、課題発見力を身に付けることができました。実習では主にグループ活動を行い、新規顧客獲得のための商品・サービスを提案しました。企画が採用されるよう、グループ内で市場調査やプレゼン作成に積極的に取り組み、7グループ中2位という結果を残しました。反省点としては、プレゼン作成にこだわりすぎて時間がかかってしまったことです。次回は計画をしっかり立て、効率的に行動していきたいと思います。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

社会人が身に付けていると感じたスキルは、簡潔に分かりやすく必要な情報だけを伝える力です。インターンシップ中に受けた講義では、難しい内容も具体例を交えながらイメージしやすく伝え、特に意識してほしい点や重要な部分を強調して伝えている様子が印象的でした。私は簡潔に必要な情報を伝えることが苦手なので、情報整理をしっかり行い、今後はもっと分かりやすく伝える力を養いたいです。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回のインターンシップで学んだことを、プレゼン作成や発表に活かしていきたいと考えています。これまでプレゼン発表は自分なりに行っていましたが、良い結果を残すことができていませんでした。しかし、講義で学んだプレゼンが上手くなる方法やコツを実践したことで、良い結果を得られ自信ができました。プレゼンは、聞き手に興味や関心を持ってもらうことが重要だと思うので、今後はその点を意識しながら制作・発表を行いたいと考えています。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・地域経済学科		
実習先 名 称	株式会社サンリブ もりつね店		
実習期間	2024 年 9 月 9 日（月） から 9 月 13 日（金） まで	実習日数	5 日間
●全日程の具体的実習内容			
9/9(月)オリエンテーション・業界説明・基本マナー 館内ルール説明、社員ミーティング 畜産割引シール貼り、前出し		9/11(水)朝礼、お客様迎え、品出し、ミーティング 消費期限チェック、棚替え、社員ミーティング 値引き/畜産割引シール貼り、前出し	
9/10(火)朝礼、お客様迎え、品出し、ミーティング デイリー部門での仕事説明、社員ミーティング 畜産割引シール貼り、前出し		9/12(木)朝礼、お客様迎え、品出し、ミーティング 衣料品業務、社員ミーティング 9/13(金)店舗実習振り返り、感想・課題発表 座談会、アンケート記入	
①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）			
この 5 日間のインターンシップを通して、接客業やサービス業の仕事の大変さを知ることができました。身だしなみや表情、言葉遣いなどは、直接お客様に伝わるものです。常日頃から気を付けていなければならないことだと感じたので、実習中は特に気を配りながら業務を行いました。また、お客様とのコミュニケーションや事故防止のため、売り場での作業を行う際には、常に周囲に注意を払い、すれ違いの挨拶は欠かさず行うことができました。			
②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。			
社会人が身に付けていると感じたスキルは、お客様にどのようなことを聞かれても瞬時に応対できるように、事前準備を徹底していることです。社員の方々は、商品の置いている位置を把握していたり、ミーティングで様々な情報を細かく報告・共有し、自分の担当外の業務も把握し応対ができるようにしていました。実際に売り場に出ると、お客様に質問されることが多々あり、事前準備の大切さを体感しました。			
③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。			
今回のインターンシップでは、お客様第一を考えながら仕事を行うことの大切さ、難しさを学ぶことができました。普段のアルバイトから身だしなみや表情、言葉遣いなどを常に意識し、就職活動では無意識にでも行動できるようにしたいです。また、どのような状況でもすぐに対応ができるよう、自ら積極的に様々な情報を事前に把握することの大切さを学べたので、日常生活でも意識していきたいです。			

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名称	株式会社シティーライン		
実習期間	2024 年 8 月 19 日（月） から 8 月 23 日（金） まで	実習日数	5 日間

●全日程の具体的実習内容

8/19（月）会社説明、現場の見学、物流体験
 8/20（火）配送事業、ピッキング
 8/21（水）配送事業、物流センター見学
 8/22（木）配送事業、物流での荷物の移動
 8/23（金）配送事業、物流での仕分け

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

実習での目的は、物流業界の業務を理解し、物流の効率性について学ぶことでした。成果として、現場の物流倉庫の業務に参加し、商品の入出荷や倉庫の管理がどのように行われているかを具体的に理解することができました。積極的にコミュニケーションを図ることで、自分の可能性や視野を広げる良い機会になったと感じています。反省点としては、コミュニケーションが十分でなかった場面があり、意思の伝達が上手くいかなかった部分があったことです。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

身に付けていると感じたスキルはチームワークとコミュニケーションスキルです。物流業務は個々の作業だけではなく、チーム全体での連携が必要です。倉庫スタッフやドライバー、システム管理者など、様々な職種の人がチーム一丸となって仕事を進める姿を見て、チームワークの重要性を学ぶことができました。また、社内だけではなく取引先とも連携をしながら業務を進めていたので、コミュニケーション力が一番必要だと思いました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

物流の仕組みに関する知識を得ることができた今回の実習を通じて、今後のキャリアを見据えた際に、他業種でも物流業界の知識が役立つと感じました。また、物流業界ではトラブルが起りやすい場面があることを実感しました。インターンシップ中に偶然トラブルが発生した際、即座に対応する力や柔軟に考える力が必要だったからです。この 5 日間で得た経験やいただいたお言葉を忘れず、今後も自分の持ち味を活かしながら努力を続けていきたいと思っています。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名称	株式会社自由ヶ丘 ドライビングスクール折尾		
実習期間	2024 年 8 月 28 日（木）	実習日数	1 日間

●全日程の具体的実習内容

8/28(木) 仕事内容説明・適性検査・技能教習

(備考) 8/29(金) 台風の影響により中止

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

ドライビングスクールでのインターンシップを通じて、「0 から教えること」の大変さを実感しました。今まで教わる立場が多かった私にとって、教える立場になるのは新しい経験であり、相手の立場に立ってペースを合わせることの重要性を学びました。自分が理解していることを、何も分からない人にどう伝えるかが大切だと実感しました。この経験は今後の教える場面でも活かしていきたいと思います。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

スケジュール管理能力です。台風による日程変更で、実習が 1 日になった際、指導者の方々は非常に迅速かつ柔軟に対応し、1 日で充実した内容の実習にしてくださいました。この臨機応変な対応力は、社会人に求められるスキルの一つだと感じました。また、このように柔軟な対応が出来たのは、事前に細かい計画を立て、状況に応じて調整をするスキルがあるからだ実感しました。仕事においても、予定変更や急な依頼に対応する柔軟性は不可欠だと再認識しました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回学んだ教えることの難しさや相手の立場を理解する大切さは、今後社会人になった際にも非常に役立つスキルだと思います。例えば、仕事で後輩に指導する場面やチームメンバーと協力して作業を進める際に、相手に寄り添いながら伝えることが大切です。相手が理解できるペースで説明をし、丁寧にフォロー出来るよう、普段から自分のコミュニケーションスキルを向上させ、他人との協力を大切にしながら、仕事を円滑に進めるためのスキルを磨いていきたいと思っています。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・国際社会学科		
実習先 名称	株式会社自由ヶ丘 ドライビングスクール折尾		
実習期間	2024 年 8 月 28 日（水）	実習日数	1 日間

●全日程の具体的実習内容

8/28(水) 仕事内容説明、企業理念
 学校内紹介、受付業務の仕事内容
 適性検査、技能教習の仕方
 ドローン講習説明、シミュレーター体験
 8/29(木) 台風のため中止

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

今回の実習で気付いたことは、実際に指導者の立場になったとしても、車の操作やエンジンのかけ方について言葉で説明するのは難しいということです。一年半ぶりに MT 車に乗ってとても緊張していましたが、指導者の方が優しく丁寧に分かりやすく教えてくださり、とても早く操作に慣れることができました。また、インターンシップ中に適性検査を受ける事ができ、慎重すぎて決断力に欠けていることが分かりました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

自動車学校の指導者の方は、六つの資格を必要とされており、その中に指定教習所職員の使命と心構えというものがあります。その資格では「服装、挨拶、言葉遣い、公平な教習・検定」など、学生や高齢者の方まで幅広い年代と関わり上で必要なスキルに加え、分かりやすく説明する力やコミュニケーション力、受講生の方々に安全に運転してもらう判断力なども求められます。ミラー越しに目の動きや顔を見て常に観察する力、適切な判断力があると感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回のインターンシップでは自動車学校の現状を学びました。少子高齢化が進み、年々入校者数が減ってきていることが分かりました。そのため、株式会社自由ヶ丘ドライビングスクール折尾様はドローン教習を取り入れたと聞きました。また、指導者のみなさんは「褒めて伸ばす教習」を心掛けてしていると知りました。私は、今回のインターンシップで観察力や的確な指示、判断力が必要な仕事であると学びました。今後は状況判断や人との接し方を改めようと思いました。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名称	株式会社しろみず		
実習期間	2024年9月9日（月） から9月13日（金） まで	実習日数	5日間

●全日程の具体的実習内容

9/9(月)	オリエンテーション・事業概要説明 工場紹介・設計業務内容説明 球形タンクの説明	9/11(水)	工場設備の紹介・工場見学・原寸 溶接・組立の説明
9/10(火)	設計部保有ソフトの説明 球形タンクの作図	9/12(木)	球形タンクの品質管理・機械試験
		9/13(金)	球形タンクの現場組立・レポート作成・発表

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

製造業への理解を深めることができました。今回のインターンシップでは就職活動に向けて様々な業種について理解することを目標としました。日常生活で目にすることはあっても、詳しくは知らないタンクの設計から現場での組立まで、様々な知識を身に付けることが出来ました。特に溶接については、今まで間違った知識を持っていたことが分かり、とても良い経験になりました。以上のことから、目標は達成することができました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

社会人として大切にしていると感じたことは、コミュニケーション能力と職業人としての心構えです。コミュニケーションに関しては、顧客との打ち合わせや工事現場での意見調整など、さまざまな場面で重要性を実感しました。その度に、円滑なコミュニケーションがどれほど大切かを感じました。職業人としての心構えについては、ミスや事故を防ぐための徹底した安全確保や、顧客のために納期を守るという強い責任感を持って仕事に取り組んでいる姿勢が印象的でした。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回のインターンシップを通じて、自分が想像していた仕事と実際の仕事には大きな違いがあることを実感しました。タンク製造の現場での組立作業には、顧客や現地の作業員との円滑なコミュニケーションを図るため、営業職的な側面も含まれていることを体験して知ることが出来ました。今後の就職活動では、満足のいく結果を得るために、ただ情報を調べるだけでなく、一日インターンシップなどに積極的に参加し、実際の業務について理解を深めていきたいと考えています。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名称	第一交通産業株式会社		
実習期間	2024年9月5日（木）から9月6日（金）まで	実習日数	2日間

●全日程の具体的実習内容

9/5(木)業界説明・会社説明・社内見学
事業所見学会
9/6(金)グループワーク

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

私はグループワークで意見を出すことが苦手なため、インターンシップでは克服に向けて少しでも前進することを目標としていました。積極的に多くの意見を出せたわけではありませんが、普段より意見を伝えることが出来た点は良かったです。また、自分の意見が採用された時の嬉しさを経験できたことは大きな収穫でした。今後はプレゼンや発表の機会を増やし、経験を積むことで人前で話すことに慣れ、さらにスキルを向上させていきたいと考えています。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

社会人の方々は、人を観察する力が非常に優れていると感じました。最終日のフィードバック時、私は自分が企業の方々にどれだけ良い印象を与えられたのか不安でしたが、パソコン技術とグループワークで自分の意見をしっかりと出せていた点を褒めていただきました。限られた時間で私の得意不得意を見極めて評価していただいたその観察力に驚きました。私もこのような観察力を身に付け、多くの視点から物事を考えられるようになりたいと強く感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

最終日のグループワークでは、「第一交通産業を就活生に紹介する」というテーマでプレゼンを行いました。そのなかで、ターゲットに合わせたプレゼンの進行や、視線や声の大きさなど、伝えるための重要なポイントを教えていただきました。また、緊張してうまく話せなかったことについて、フィードバックの際に貴重なアドバイスをいただきました。大学生活ではもちろん、社会人になってからもプレゼンは欠かせないため、学んだことを意識して実践し、プレゼン技術を活かしていきたいです。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名称	第一生命保険株式会社 北九州総合支社		
実習期間	2024年8月28日（水）	実習日数	1日間

●全日程の具体的実習内容

8/28（水）第一生命の紹介・就活ポイント研修
マナー研修・支社内見学
資産形成セミナー・先輩体験談・座談会

（補足） 8/29-30 は台風の影響により中止

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

企業の特徴をより深く理解するため「どういう人と一緒に働きたいか」という質問を必ずすることを目標としていました。この目標については実践できたため、自分にとって良い成果だったと感じています。一方で、緊張のあまり言葉に詰まったり声が小さくなってしまったりと、企業の方々に気を遣わせてしまう場面がありました。これは、事前研修を十分に復習できていなかったことが原因だと考えています。次回の実習では、よりしっかりと準備を重ね、不安を解消した状態で臨みたいです。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

臨機応変に行動する力が備わっていると感じました。今回の実習は三日間の予定でしたが、台風の影響でスケジュールの見直しが必要となりました。その際、実習先の方々は迅速かつ柔軟に対応し、一日でも実りある実習に出来るよう、スケジュールを再編してくださいました。このような初めてのケースでも、最適なカリキュラムを考慮してくださったおかげで、充実した時間を過ごすことができ、多くの学びを得ることができました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回のインターンシップでは、業務内容の説明に加え、就職活動に役立つ研修も行っていただきました。なかには、第一生命保険ならではの貴重な情報が多く含まれており、早めに知ることで対策出来る内容も多く、大変有意義な学びとなりました。この経験を今後の就職活動に活かし、準備を進めていきたいです。また、どのような人材を求めているかを直接尋ねることができたため、この学びを今後の企業研究や自己分析に役立てていきたいと考えています。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名称	第一生命保険株式会社 北九州総合支社		
実習期間	2024 年 8 月 28 日（水）	実習日数	1 日間

●全日程の具体的実習内容

8/28（水）朝礼見学、オリエンテーション
マナー研修、支社見学
資産形成セミナー、先輩体験談・座談会

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

私はこれまで大勢の前で話すことが苦手でしたが、資産形成セミナーや座談会を通じて成長を実感しました。また、就職活動に向けて必要な準備や心構えを教えていただき、自分がまだ十分に準備できていないことを痛感しました。企業についての研修は台風の影響で一日だけとなりましたが、社員の方々から直接お話を伺うことで、企業への理解を深める貴重な機会となりました。この経験を活かし、今後の就職活動に全力で取り組みたいと思います。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

特にチームワークの重要性を実感しました。社員の皆さんは仲が良く、社内では明るい声が飛び交い、協調性の高さを感じました。入社後 2 年間は同期と共に仕事をする部署もあり、その環境がチームワークを育むのだと支社見学を通じて分かりました。また、若くして一部署のトップを任されることもあると聞き、人のために働ける人材を大切にしている企業文化に感銘を受けました。私も将来、そのような心構えを持ち、責任をもって仕事に取り組みたいと感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

インターンシップを通じて、就職活動に向けて志望動機や自己分析をより高いレベルに引き上げようと決意しました。社員の方が仰っていたように、これらを充実させることで面接に自信を持って挑めると感じています。また、SPI を対策せず後悔したという話を伺い、今からしっかりと準備を進め、後悔のない就職活動にしたいと思います。この貴重な経験を活かし自己研鑽を重ねてより大きく成長できるよう努力していく所存です。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名称	大英産業株式会社		
実習期間	2024年8月22日（木）から8月27日（火）まで	実習日数	5日間

●全日程の具体的実習内容

8/22(木)オリエンテーション・用地仕入れ仕事体験 戸建住宅モデルルーム見学	8/25(日)休務日
8/23(金)オリエンテーション・マンション見学 営業仕事体験	8/26(月)オリエンテーション・街づくり仕事体験 会社見学
8/24(土)webマーケティングについて・ペラ作り,発表	8/27(火)街づくり仕事体験のプレゼン発表 フィードバック・5日間の振り返り 共有・動画鑑賞

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

今回の実習では、心に余裕を持って人前で発表できたことは、自分にとって大きな成果だと感じています。この経験を通じて、プレゼンテーションのスキルに自信が持てるようになりました。反省点としては、グループワークの際に自分の意見をもっと積極的に出せたのではないかと感じています。次回の実習では、さらに意見を発信する機会を増やし、目標の「積極的に関わる」を完全に達成できるように努めたいと思います。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

社会人が身に付けているスキルとして、傾聴力と計画力を特に印象深く感じました。プレゼン発表の際、社員の方々が深く傾きながら真摯に聴いてくださり、その後のフィードバックが非常に有益でした。これによって、傾聴力が高いと相手に良い影響を与えると実感しました。また、計画力については、限られた時間を有効に使い、しっかりと休憩を取ることで効率よく実習を進めていた点が非常に印象的でした。この計画力は、今後の実習や仕事でも活かしていきたいスキルです。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

実習を通じて、自分のアイデアや積極性をもっと伸ばしていく必要があると感じました。特に、他大学の学生とグループワークをする中で、積極的に意見を出し、行動することの重要性を学びました。この経験を通じて、自分の成長を実感できたので、今後はゼミ活動で積極的に発言し、率先して行動することで、さらなる自己成長を目指したいです。次回の実習に備えて、これらのことを習慣化していきたいです。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・地域経済学科		
実習先 名称	大英産業株式会社		
実習期間	2024年8月22日（木）から8月27日（火）まで	実習日数	5日間

●全日程の具体的実習内容

8/22(木) オリエンテーション、用地仕入れ仕事体験 戸建てモデルルームの見学	8/26(月) 街づくりプレゼン資料作成 社内見学
8/23(金) 営業のロープレ体験 八幡マンションギャラリーの見学	8/27(火) プレゼン発表 フィードバック、自己分析・反省
8/24(土) マーケティングについて、ペラ作成（発表）	

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

実習ではグループワークなどを通して、話を聞く姿勢やコミュニケーション力を身に付けることができました。しかし、主体性をもって行動するという目標は達成できませんでした。周りの他学生のコミュニケーションスキルや話をまとめる力に圧倒されました。大英産業従業員の皆様との懇談会や説明で、不動産業について知ることができました。初めての人や環境に出会い、本当に自分がやりたい事は何かということが明確になりました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

今回の実習を通して、営業という観点から2つのスキルを学びました。1つ目は、絶対にお客様「民間・企業」などに対して押し売りをしないということです。他社の良い点や自社の良い点、悪い点を挙げて、そのうえでお客様に決めていただく姿勢で、他社も比較して頂くことを織り込んだ営業方法でした。2つ目は、チームワークを重視した営業を大切にしている姿勢です。外回りでは1人でも、問題を抱え込まず、チームで動いている認識で仕事をしていると何うことが出来ました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

ロープレ体験を通して、戸建ての長所や短所、お客様に対するヒアリング方法などを学ばせていただきました。ヒアリングに関してはどの営業でも必須のスキルで、今後、私が営業職に就いたり、他の職種に就いた際には活かしていきたいと考えました。また、今回のグループワークを通じて、自己分析やロールモデルを見返すことができたため、次回のインターンシップではより主体的に行動したいです。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名 称	中間市役所		
実習期間	2024 年 8 月 20 日（火） から 8 月 22 日（木） まで	実 習 日 数	3 日 間
●全日程の具体的実習内容 8/20(火) オリエンテーション、市役所案内・説明 介護保険課と青空市場同行 8/21(水) 休暇制度の説明、Excel 作成、 市長業務同行 8/22(木) デジタル推進課での実習 商工観光課での実習			
①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省） インターンシップでの目標は「積極的に行動し、分からないことを聞いてメモを取る」ことでした。業務を体験するなかで、庁内業務だけでなく、観光案内や地域貢献活動もしていることを知り、新たな視点を得ることができました。また、実務を通じて現場での知識や経験が増え、今後の活動に大いに役立つと感じています。自己評価としては、非常に充実したインターンシップであったと思いますが、さらに多くの業務を経験するべきだったと反省しています。			
②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。 市役所の仕事では、異動により業務内容が変わるため、適応力と柔軟性が重要だと実感しました。どの部署でも対応できるよう臨機応変に行動し、学ぶ姿勢を持つことが求められます。さらに、接客を通じて礼儀やマナー、言葉遣いの重要性を学びました。これらのスキルは、仕事の成果を高めるだけでなく、人間関係を円滑にし、信頼を築くためにも必要不可欠であり、社会人として常に磨いていくべきだと感じました。			
③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。 市役所業務を通じて、固定概念にとらわれず柔軟に考えることの重要性を学びました。この経験を活かし、今後の就職活動では、多様な企業を知ることが大切になりたいと考えています。また、臨機応変に対応する適応力は、どの職場でも必要なスキルであり、日常生活や学業を通じてさらに向上させたいと思います。企業研究を入念に行い、自分に合った職場を見つけるため、努力を惜しまない姿勢を持ち続けます。			

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・国際社会学科		
実習先 名称	株式会社ナフコ		
実習期間	2024年8月28日（水）から9月2日（月）まで	実習日数	5日間

●全日程の具体的実習内容

8/28(水) オリエンテーション 会社紹介	9/1(日) 店舗実習（品出し、陳列）
8/30(金) ビジネスマナーについて	9/2(月) 実習報告 グループディスカッション
8/31(土) 店舗実習（品出し、陳列）	

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

5日間のインターンシップを通して、ナフコがどのような働き方をしているのか学ぶと共に成長の原点である現場第一主義とはどのようなものか実際に体験することができました。このインターンシップの目標としていた積極的に行動することは達成できたと感じていますが、同時にお客様に説明する際に分かりやすく伝えることが出来なかったことが課題です。相手に伝えることの大変さとお客様に選ばれている理由、そして小売業の魅力をこのインターンシップで知ることが出来ました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

私は伝える力が非常に身に付いていると感じました。例えば従業員の方から指示を受けた際、会話の中でも受け取りやすい言葉を使ったり、理由を具体的に説明していました。ただ話すだけでなく相手に伝えることを意識するなかで、お客様に向けた商品の説明をする際に、声の大きさやトーンにも気を遣っていることに気づきました。このように、商品の魅力を伝えることができるのは好きだからこそ出来ることであり、従業員の方の努力が垣間見える実習でした。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

特に接客について学ぶことが出来たと思います。私は就職活動を行う上で接客が出来ることを軸にしています。そして、このインターンシップでお客様に寄り添っている従業員の方を見て改めてこの軸を大切にしていこうと思うことが出来ました。やりたいことを再確認することができ、本当に自分の成長を感じることが出来た5日間でした。今回のインターンシップで学んだことを忘れずに、社会人に向け就職活動に取り組んでいきたいと思っています。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・地域経済学科		
実習先 名称	株式会社ナフコ ツーワンスタイル福岡空港店		
実習期間	2024年9月6日（金）から9月10日（火）まで	実習日数	5日間

●全日程の具体的実習内容

9/6(金) 自己紹介、ビジネスマナーについて 業界紹介、企業概要、経営理念	9/8 (日) HF 陳列整理、清掃、MT、カウンター カーテン知識
9/7(土) 売場巡回、梱包作業、こたつの組み立て ラミネート加工	9/9 (月) 清掃、夏物の片づけ、組立、MT 9/10(火) 店舗実習報告、ナフコについて、グループワーク

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

仕事のやりがいなど気になることを全て聞くことができたため、社員の方二人に質問をするという目標は達成できました。

反省点は正しい敬語を使うことができなかったこと、カウンター業務をしているとき緊張してしまい、お客様に自分から積極的に話かけることができなかったことです。後半にかけて疲れが出てしまい、声掛けなどがおざなりになってしまったことなど、改善点もたくさん見つけることができたので改善していきたいです。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

社会人が身に付けていると感じたスキルは、物や言葉を使って人に上手に説明することができる力です。例えば、私が「ナフコという企業はどんな企業なのか」という説明を受けた際に、図を用いて分かりやすく説明してくれたり、自身の体験談を用いて、どのようなことに気を付けているかなど分かりやすく教えて頂きました。社会人の方は、図や体験談を上手に使うことで、相手に分かりやすく伝えことができる力があると感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回のインターンシップでは敬語や接客方法など、人との接し方や小売業において必要なスキルについて学ぶことができたため、目上の人と話すときや就活の際に活かしてみます。私が将来、小売業への就職を決めた際には、今回学んだスキルを活用していこうと思います。また、アルバイトでのお客様対応でも、接客のスキルは使うことができるので活用していこうと思います。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・国際社会学科		
実習先 名称	西鉄旅行株式会社 北九州支店		
実習期間	2024年8月13日（火）から 8月16日（金）まで	実習日数	4日間

●全日程の具体的実習内容

8/13(火) オリエンテーション・施設見学 ツアーネームタグ作成	8/15(木) 端末操作(チケット発券・請求書 パスポート入力・Web 作成)営業同行
8/14(水) 端末操作(自社・空港会社・JR 端末) パンフレットの見方	8/16(金) 端末操作(ポスター作成)営業同行 団体営業について

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

今回のインターンシップでは、目標の一つであった会社の強みや他社との違いについて尋ねることが出来ました。また、参加したことで、添乗員やカウンターの仕事以外にも職務が多くあることに気づき、イメージしていた旅行会社とは違う新たな学びがたくさんありました。反省点は、端末操作の際に時間をかけすぎてしまい、他の業務時間が減ってしまったことです。Excel など最低限出来るようになるため、日頃から触って慣れておくようにします。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

スピードかつ正確性(クイックレスポンス)を大事にしているということです。数ある旅行会社の中から選んでもうために、どこよりも早く提案書をお示しし、絶対に手配ミスしないよう他職員に確認してもらうよう注意を払っていました。さらにお客様に満足してもらい、リピートしていただくためにお客様の声をとても大事にしており、聞かれたことに対して丁寧にお答えしている姿を見て、瞬時に対応するスキルを持っていると感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回のインターンシップを通して、積極性を大事にしたいと思いました。待っているだけでは仕事やチャンスは来ず、自分から進んで動かないと何も変わらないことをインターンシップ初日に学んだからです。また、社員の方に求める人材を聞いたところ、「素直で臨機応変に対応し、人柄が良い人」と仰っており、これはどの仕事でも求められる大切なことだと思ったので、今後の就職活動にも活かし、留意していきたいと思いました。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・地域経済学科		
実習先 名 称	西日本フード株式会社		
実習期間	2024 年 9 月 19 日（木） から 9 月 21 日（土） まで	実習日数	3 日間
●全日程の具体的実習内容 9/19(木) 業界研究・業務紹介・営業所内見学 責任者説明 9/20(金) ルート同行 9/21(土) 発表準備・発表・就職活動について			
①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省） 私は今回、どのような強みを持った企業なのかを理解するという目標を立てました。西日本フードでは、ただ運送するだけでなく、お客様一人一人に合ったコミュニケーションをとることで、信頼を得て商談をしやすくするという工夫がありました。また、取り扱っている商品が多いため老若男女問わず、様々なお客様のニーズに合わせることができるという強みを発見することができました。当初の目標は達成することができました。			
②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。 その場に応じた臨機応変な対応をするスキルです。ルート同行に行った際に、お客様全員に同じ対応をするのではなく、一人一人コミュニケーションの仕方を変えていました。お客様の目を見てその日のテンションや雰囲気を感じ取り、真面目な雰囲気の際はあまり世間話をしないようにしたり、少し緩めの雰囲気の際は世間話を少し多めにしたりなどしていました。その場の雰囲気に応じた対応をしていたため、これらのスキルがあると思いました。			
③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。 与えられた業務だけではなく、荷物を運び入れながら倉庫の整理をするなど、細かい心遣いは相手にいい印象を与えることが出来ると思いました。私も普段からそのような心遣いができるようにしたいです。目から相手の状況を察するスキルは、社会人になってから実行しようとしてもすぐには出来そうにないのでアルバイトなどで練習し、社会人になった際にこのスキルを活用して仕事が出来るようにしたいです。			

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・地域経済学科		
実習先 名 称	西日本フード株式会社		
実習期間	2024 年 9 月 19 日（木）から 9 月 21 日（土）まで	実 習 日 数	3 日 間

●全日程の具体的実習内容

9/19（木）オリエンテーション・会社案内 会社概要説明・ルートセールスについて 企画営業について・責任者説明	9/21（土）実習報告会 事務の方からの説明 就職活動について
9/20（金）企画営業での資料拝見 ルート同行	

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

今回の実習では営業職に対する理解や、適性を把握するという目標を達成できました。実習ではルート同行の際や、座学の際に目標としていた二人以上の方からお話を伺うことができ、営業に対する細かな業務内容や、仕事をするうえで重視していることを教えてもらい、より一層理解を深めることができました。適性についても、営業職は元々向いていないと感じており、今回それを覆すことは出来ませんでしたが、選択肢の一つとして考える程印象は大きく変化しました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

営業職という事もありお客様とのトークスキルは勿論のこと、現場においての臨機応変さも持ち合わせていると感じました。お客様との対話では、注文したお肉の状態が悪い等、店舗によっては厳しいことを言われる場面が多々ありましたが、担当の方は、その様な状況でも落ち着いて伝えるべきことを丁寧に説明しており、店舗の雰囲気やお客様によって話し方を少し変えているように見受けられました。その為、会話力や臨機応変さの様なスキルを身に付けていると感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今まで営業職と聞くとトーク力が強く求められる印象がありましたが、担当の方から「私も話すことが苦手だった」と伺い、「聞き上手であることも重要」と仰っていました。お客様との対話においては会話力も必要ですが、一番は相手を不快にさせないコミュニケーションが大切だと学びました。その為、今後の生活においても積極的に会話をするだけでなく、相手の様子や雰囲気をしながら不快にさせないよう意識をして会話力を鍛えていきたいです。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名称	日進化学株式会社		
実習期間	2024 年 9 月 3 日（火）から 9 月 6 日（金）まで	実習日数	4 日間

●全日程の具体的実習内容

9/3(火) 会社概要説明・工場見学
品質管理室体験
9/4(水) 作業体験
9/5(木) 営業同行体験
9/6(金) 実習報告準備・プレゼンテーション

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

インターンシップを通じて、製造業への理解を深めることが出来ました。実習生が私 1 人という状況で非常に緊張しましたが、その分企業についてより詳しく学ぶことが出来たと感じています。また、営業に同行して多くの商品を納品する中で、軽量のポリエチレンフィルムでも予想以上に重く、体力の無さを痛感しました。この経験をきっかけに、就職活動の合間に筋トレを行い、基礎体力を向上させようと決意しました。貴重な体験を活かし、今後の成長に繋げていきたいと思っています。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

仕事に対する責任感やビジネスマナーに加え、高い運転スキルの重要性を強く感じました。営業に同行させていただいた際、移動のほとんどが車で行われ、細い道や交通量の多い道、高速道路など様々な場所を長時間運転している様子を目の当たりにしました。社会に出ると車での移動や同乗が必要になる場面も多いと聞き、今のうちに運転技術を磨いておくべきだと実感しました。また、ビジネスマナーについてもさらにブラッシュアップし、社会人基礎力を身につけていきたいです。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

インターンシップ前は、製造業の多くは機械化され、人の関与は少なく、主に営業が新規契約を取る仕事だと思っていた。しかし、実際に体験してオーダーメイドという特徴に気付きました。包装や工場内の運搬を人の手で行い、既存のお客様とのコミュニケーションを重視している点に驚きました。また、社員が納品まで直接行うなど、HP や書類だけでは分からない現場の実情を学ぶことができました。多くの新しい視点を得ることができ、とても有意義な経験になったと感じています。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・国際社会学科		
実習先 名 称	日伸産業株式会社		
実習期間	2024 年 9 月 9 日（月）から 9 月 13 日（金） まで	実 習 日 数	5 日 間

●全日程の具体的実習内容

9/ 9(月) 会社説明・営業同行	9/12(木) 勉強会・営業同行
9/10(火) 工場見学・「日伸産業の魅力」についての PPT 作成	9/13(金) 勉強会・社長との対談 「日新産業の魅力」プレゼン・ アセスメント・振り返り
9/11(水) 勉強会・PPT 作成・プレゼン練習	

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

実習では、営業同行を通して BtoB 営業がどのように行われているかを知りました。また取引の話し合いに参加させていただき、幅広い業界の社会人の方々と関わることができました。営業同行の中で欠かせない挨拶は「自分が先に元気よく」行い、会話に積極的に参加することができました。しかし、座り方や取引先の方からお茶を出されたとき、同行者への気遣いなど細かいビジネスマナーの確認が不十分だったことが反省点として挙げられます。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

営業同行にて、取引先との商談に参加した際に感じたことは、社会人として会社に貢献するには知識や協調性が必要であるということです。自社の商品はもちろん、他社の商品についてやニーズなどを知り、その知識を社内で共有してチームが生まれていくように感じました。それと同時に、社会人は人を思いやる気持ちがいかに大切であるかを知りました。日伸産業の皆さんは思いやりの気持ちが光っていて、心惹かれました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回インターンシップに参加して、ビジネスマナーについての確認と自身の意識が不十分であることに気づきました。事前にご指導をいただいていたが、いざビジネスの現場となるとビジネスマナーを通しての気遣いができませんでした。今後の就職活動や就職後、また生涯を通して必要となる事柄であるので、社会人になる準備期間である今のうちに知識を十分に、実践に臨みたいと考えています。また、生活する中で常に考え意識することが定着に近づくと感じました。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名称	日本生命保険相互会社 北九州支社		
実習期間	2024年9月5日（木） から9月6日（金） まで	実習日数	2日間

●全日程の具体的実習内容

9/5(木) オリエンテーション、会社説明、知識・商品研修
コンサルティング営業の体感グループワーク

9/6(金) コンサルティング営業の体感グループワーク
職員との座談会、職員からのフィードバック

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

実習を通して、先輩社員のお話を聞けたことが一番の成果です。先輩社員の方のお話を聞いて、面接では他人を巻き込んで何を達成したのか、学生時代に得た力を何に活かせるのかなどを重視していると教えて頂きました。また、営業では相手のことをどれだけ想えるか、相手にしか響かない言葉を使うなどが大切であるということも学びました。反省点はグループワークでほとんど喋ることができなかった点です。たとえ間違っているとしても発言をするべきだったと後悔しています。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

先輩社員の人間観察力に感銘を受けました。2日目の研修後のフィードバックで、一人ひとりの長所や短所を的確に指摘していただき、その観察眼の鋭さを感じました。また、言語化しにくい部分を言葉にできる語彙力の豊富さも、社会人として重要なスキルだと実感しました。相手を深く理解し、それを適切な言葉で伝える力は、コミュニケーションの基本であり、私も身につけたいと感じました。先輩社員の姿から、人を見る目や表現力の大切さを改めて学ぶことができました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回のインターンシップを通じて、自分が意見を発表することが苦手だと改めて気付きました。意見を言えないと引っ込み思案になり、周囲の話についていけない場面もあり、意見交換の重要性を実感しました。今後、面接のグループディスカッションやゼミでの話し合いに参加する際は、「間違いや失敗を恐れず、積極的に意見を交換することがより良い話し合いに繋がる」という姿勢を大切にしたいと思います。この経験を糧に、自分の意見に自信を持って取り組んでいきたいです。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・地域経済学科		
実習先 名 称	株式会社ファイン		
実習期間	2024 年 9 月 9 日（月） から 9 月 13 日（金） まで	実 習 日 数	5 日 間

●全日程の具体的実習内容

9/9(月) 会社概要説明、総務業務体験 施工中物件・施工完了物件の見学	9/12(木) 内装補修、多能工体験 9/13(金) 現場調査、営業社員とのディスカッション 経理業務体験
9/10(火) 設計業務体験、新築現場の見学	
9/11(水) 清掃体験	

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

職種ごとに必ず一名、その職種のやりがいや特徴を伺うことを目標にしていました。実習期間中は目標達成することができた一方、それ以上のことを求めて行動することができなかったことが反省点です。しかし、やりがいだけでなく休日の過ごし方や入社の動機など、気になったことを伺うことができました。また、インターンシップの目的であった職種のイメージを掴むことに関しては、以前よりも明確化できたと感じています。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

実習期間中に現場で昼休憩を挟む日がありました。その際、昼食を同僚の方と食べに出掛けたり、休憩時間に仮眠を取ったりと、休憩時間にリフレッシュをされていました。そこから、オンとオフの切り替えの重要性を感じました。また、朝礼にも参加させていただきました。社員の方が読んだ文章に対しての感想を述べた後、別の方がその感想についての気付きを述べる時間があり、周りの話をしっかり聞いて自分の考えを伝えるコミュニケーション力を感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回のインターンシップでは、朝礼やデスクワーク、営業同行を行い、日頃からコミュニケーションをとるよう習慣付けることの重要性を学びました。また、これからの社会において自分の意見を考えず発言しない人は厳しいという話をいただいたことが印象に残りました。就職活動までに日頃からコミュニケーションをとるように意識しつつ、周りに圧倒されず自分の意見を提示出来るよう意識していきたいと考えています。また、オンとオフの切り替えも実践していきたいです。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・地域経済学科		
実習先 名 称	株式会社ファイン		
実習期間	2024 年 9 月 9 日（月）から 9 月 13 日（金）まで	実習日数	5 日間
●全日程の具体的実習内容 9/9(月) 会社説明 経理業務体験 総務業務体験 9/10(火) 清掃業務体験 9/11(水) 多能工体験 9/12(木) 設計業務体験 新築物件見学 9/13(金) 現場見学 経理業務体験 座談会			
❶実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省） 今回のインターンシップでの目標として、社員の方々へ積極的に質問することやリアクションを良くすることを掲げ、達成することができました。普段積極的に質問をすることはないのですが、今回のインターンシップで自分を変えようと思い、毎日2回以上は質問をすることができました。他にも、メモを忘れずにとることでそのときの学びを忘れないようにすることもできました。また、メモをしないと忘れてしまう業務もあったので、メモの大切さに気付くこともできました。			
❷社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。 情報伝達力だと感じました。今回のインターンシップで経理の業務体験をさせていただいた際に、確認に確認を重ねていたからです。経理の業務では大小関わらずお金の動きがあり、そこで一つでも間違えてしまうと全ての記録の確認をしなければなりません。また、現場見学の際にも実際に現場で建設作業を行っている方と確認を頻繁にすることで齟齬が無いようにしており、基本的な事ですすが欠かせないスキルだと感じました。			
❸今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。 今回のインターンシップで学んだことを、現在働いているアルバイト先や就職活動、就職後にも生かしていきたいです。今回学んだこととして、報連相などの情報伝達の重要性が特に際立ちました。何もかも情報がなければその対策などを行うことが出来ません。しかし、ミスをして怒られることを恐れて報告しないなどは、業務を円滑にすすめることができないようにする愚かな行為なので、今後は情報のやり取りなどを重要視していきたいと思います。			

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・地域経済学科		
実習先 名称	福岡県警察 八幡東警察署		
実習期間	2024 年 8 月 16 日（金）	実習日数	1 日間

●全日程の具体的実習内容

8/16(金) 警察官の仕事内容「動画やパンフレット」
 瓶を用いた鑑識体験・警察署内見学
 飲酒運転を再現した啓発 VR 体験
 白バイ・パトカーの乗車や説明
 警察官の方との座談会

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

警察官の方に質問を二つ以上質問し、仕事の本質を理解するという目標をたてました。益々警察官を目指したいという意思が強くなりました。警察署での挨拶を含めた礼儀作法も常に意識していたため、マナー研修の成果を十分に発揮できたと実感しています。私は福岡県警察を第一志望と決めているため、大学内でのマナー講座や警察官の方との座談会を通じ、モチベーションの向上に繋げることが出来ました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

現状維持を許さず、常にスキルアップを意識している点です。これは、座談会や警察署内の見学で伺い、理解しました。警察学校では、剣道または柔道の武術を学び、いつ、何があっても対応できるように訓練していると聞きました。警察学校卒業後も警察署の武道場で練習しているそうで、日々変わる逮捕術を学び続け、身体づくりを怠らない等、常にスキルアップを意識していることを学びました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

座談会の際に、警察官の方に過去のエピソードをお聞きました。包丁を持った相手と接触した際、いくら頭で準備していたり話を耳にしても、剣道や柔道有段者でも、頭の中が真っ白になり動きが遅れると聞きました。しかし頭の片隅にでも想定外のことが起こる可能性を入れておくだけでも、対応に差が出ると伺いました。私が警察官になった際は、その話を忘れずに、自分自身と市民の方を守るために活かしていこうと考えました。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名 称	福岡県警察 八幡東警察署		
実習期間	2024 年 8 月 16 日（金）	実 習 日 数	1 日 間

●全日程の具体的実習内容

8/16（金）警察官の職務内容の説明
パトカー・白バイ見学

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

私の実習の目標は、「なぜその職業に就いたか」「その職業のやりがい」を聞くことでした。将来の夢が警察官であり、実際に働いている方々に質問をすることで参考になると考えたからです。実際に質問をして、職業内容や採用試験について知ることができ、警察官という仕事に対する興味がさらに深まりました。参加前よりも志望する気持ちが高まり、この目標を達成出来たことを嬉しく思います。反省点としては、さらに多くの質問をして、もっと深く理解できるようにしたかったです。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

社会人の方々は、プレゼンテーションスキルが高いと感じました。今回のインターンシップでは、仕事内容や採用試験に関する説明を受けましたが、その内容を上手にまとめてわかりやすく伝えてくれました。特にパワーポイントを使った説明は、視覚的に非常に見やすく、ポイントを絞ってわかりやすく提示してくれた点が印象的でした。社会人には、伝えたいことを効率的に伝えるためのプレゼン能力が身に付いていると実感しました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回学んだことを活かし、警察官を目指すために今からできることを実践したいと考えています。採用試験に向けた勉強方法や準備について具体的なアドバイスをもらったので、早速取り入れていきたいです。また、プレゼンテーションのスキルについても学びました。今後、大学生活や社会人としてプレゼンの機会が増えるため、要点を絞ってまとめ、視覚的に見やすい資料を作成する練習をしたいと考えています。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・国際社会学科		
実習先 名称	福岡県警察 八幡東警察署		
実習期間	2024 年 8 月 16 日（金）	実習日数	1 日間

●全日程の具体的実習内容

8/16（金）鑑識活動体験、白バイ・パトカー乗車体
警察署長舎見学、警察職員との座談会

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

インターンシッププログラムに参加しないと体験できないような活動ばかりで、参加して良かったと感じました。ドラマや映画とは違う本物の警察の仕事を実際に体験し、現役警察官の方から話を聞くことで具体的に自分が働いているイメージをすることも出来ました。座談会では、かなり多く質問をしました。知りたいことを知ることができ、もっと聞きたかったと心残りのある状態で終わらなかったのが良かったです。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

それぞれの職務に必要と感じたスキルを高め、自己成長をし続けていると感じました。例えば、白バイ隊員の場合、運転スキルをさらに上げるため日々訓練をされています。鑑識職員の場合、様々な業務に携われるよう新たな資格を取得し働きながら常に自己研鑽しています。新たなスキルを身に付けるのは、学生の期間だけだと思い込んでいたので、この経験を基に考えを改めようと思いました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

インターンシップに参加する前は、堅苦しく難しいイメージがありましたが、参加するととても楽しくプログラムに加わる事が出来ました。総務の方が「様々なことに挑戦することが大切」と説明されていたので、無理のない範囲で色々なことに挑戦していこうと感じました。私は、将来公務員も視野に入れており、試験を受けてみるか悩んでいましたが、まずは行動し挑戦してみて、合格したときにどの道に進むか考えようと思いました。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名称	株式会社福岡中央銀行		
実習期間	2024年9月5日（木）から9月6日（金）まで	実習日数	2日間

●全日程の具体的実習内容

9/5(木) オリエンテーション・仕事内容
やりがいについて・窓口対応

9/6(金) 営業店見学・営業店行員と座談会
札勘体験・就職活動について・模擬面接

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

今回のインターンシップで、急な窓口対応の練習や模擬面接の機会がありましたが、上手く対応できなかったことが反省点です。指導者の方から、臨機応変に対応する力の重要性を教わりました。何事にも柔軟に対応するためには、広範な知識を持つ必要があると感じました。今後は大学生活を通じて、さまざまなことに挑戦し、どんな場面でも対応できる力を身につけたいと考えています。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

実習先が銀行であったため、接客スキルが重要だと感じました。以前は接客というと、丁寧な言葉遣いで淡々と説明する堅苦しい印象を持っていました。しかし、実際にはお客様一人一人に合わせた対応が求められ、日常会話を交えながら接客を行うことが重要だと実感しました。このように、堅苦しさを取り除き、心地良い空間を作る接客技術に触れることができ、とても勉強になりました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回のインターンシップでは、福岡中央銀行の業務内容だけでなく、就職活動に関するアドバイスや模擬面接など、今後に役立つ多くのことを学びました。就職活動に関しては、SPIの重要性や面接のポイントを学んだので、早めに勉強を始め、就職活動に活かしていきたいです。また、接客においては挨拶の大切さを学びました。第一印象を左右するため、声のトーンや表情に注意し、意識的に挨拶を行いたいと考えています。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・地域経済学科		
実習先 名称	株式会社富士ピー・エス		
実習期間	2024年9月2日（月）から 9月6日（金） まで	実習日数	5日間

●全日程の具体的実習内容

9/2(月)会社概要・公告検索、現場周辺下調べ	9/5(木)ラジオ体操・会社概要(建築営業)
9/3(火)ラジオ体操・現場見学、現場調査・書類受領	建築構造物見学
9/4(水)ラジオ体操・調査後の図面作成、工場見学	9/6(金)ラジオ体操・積算業務、レポート、プレゼン

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

インターンシップに参加して得られた成果は、企業や建設業界、営業職に関する知識が増えたことです。職業に関するやりがいを質問することができ、当初の目標を達成できました。今回は、参加者が私1人ということもあり、リーダーになることは叶いませんでしたが、プレゼンを完璧にこなすことはできたため、目標達成度は85点だと感じています。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

社会人が身に付けていると感じたスキルは聞く力です。営業職の方々は、トーク力が長けているイメージをもたれやすいですが、考えをひたすら伝え続けるよりも、相手の話をよく聞いたうえでアドバイスや提案をされていました。業務以外の日常会話をする際にも、聞く力を活かして学生である私の話に耳を傾けて、質問から小さな疑問まで親身になって受け答えをしてくださったのが印象的でした。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回のインターンシップで学んだことは、建設業界の営業の知識についてです。株式会社富士ピー・エスの営業は内勤も大切だと知り、営業は外回り中心の職種もあれば、内勤中心の職種もあるということが分かりました。建設業界での営業知識は企業を比較するために活かしていきます。まだ知らない企業と出会った際には、今回の経験を判断材料として自分に合った働きかたを模索しながら企業研究を進めていきたいです。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名 称	双葉運輸株式会社		
実習期間	2024 年 8 月 2 6 日（月）から 8 月 2 8 日（水） まで	実 習 日 数	3 日 間
●全日程の具体的実習内容 8/26(月) 納涼会清掃・会社説明会 センター見学 8/27(火) 求人票掲載について マイナビ転職打ち合わせ ドライバー職 就業体験 適正テスト 8/28(水) 一般事務・運行管理業務 就業体験 人事総務業務 求人票項目説明 8/29・8/30 台風 10 号により中止			
①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省） 今回の実習を通じて、物流業に対する印象が大きく変わりました。実習に参加する前は、「物を運ぶ」というイメージしかありませんでした。しかし実際には、倉庫管理や引越事業、タクシー業、保育業など、幅広い業務を行っていることを知り、その多様性に驚きました。また、物流業は「経済の血液」とも呼ばれ、私たちの生活を支える重要なライフラインであることに大変魅力を感じました。一方、緊張から積極的に行動できなかったため、今後は自信を持って行動できるよう努めます。			
②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。 社会人は強い責任感を持って仕事に取り組んでいると感じました。ドライバーの方は限られた時間で商品を運び、一般事務の方は小さなミスが大きな問題に繋がるため、丁寧に作業を進め何度も確認を行っていました。他の業務でも自分の役割に対する責任感が強く、学生にはなかなか見られない姿勢だと感じました。また、コミュニケーション能力にも優れていると感じました。会話をスムーズに続ける方法や、人との繋がりを意識したやりとりを目の当たりにし、その大切さを学びました。			
③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。 私は今回のインターンシップを通じて、自己理解を深めようと思います。現在、働きたい職種が決まっていますが、物流業について学び、実際に参加することで得た知識から、物流業に対するイメージや環境が自分に適しているかを考え、適職を探していきたいです。また、積極的に行動することの難しさを実感したため、次のインターンシップではこの反省を踏まえ、積極的に行動することを心掛けて参加したいです。			

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・国際社会学科		
実習先 名称	双葉運輸株式会社		
実習期間	2024年8月19日（月）から 8月23日（金）まで	実習日数	5日間

●全日程の具体的実習内容

8/19(月) 企業説明・本社見学・センター見学 8/23(金) 運行管理者について、企業研究、振り返り
 8/20(火) 求人掲載・求人業界について、グループワーク
 8/21(水) 適性テスト、就業規則、納涼会準備
 8/22(木) 観音第1センターにて倉庫内作業

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

私は人見知りで、初対面の人とコミュニケーションを取ることに苦手意識がありましたが、他大学の実習生や従業員の方々とコミュニケーションをとることが出来ました。また、メモをとることを徹底し、実際に感じたことや物流・運輸業について考えたことなどをまとめました。反省点としては、質疑応答の時間に教えていただいたこと以外に関して何も思い浮かばなかったことです。質問をしてもっと深く業界のことを知れるように、念入りに準備をしてインターンに臨むべきだったと思いました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

いくつかありますが、一番感じたことは挨拶が徹底されていることです。本社の方々、会社に関わっているセンターの方々、会社に来られるトラックドライバーの方々など、みなさん「おはようございます」や「お疲れさまです」などの挨拶をどんな時でも会う度にされていました。また、会社の経営理念を基に明るく、元気にたくさんの方と接していました。実際に私も会社の方々やトラックドライバーの方々と接し、優しく明るく分かりやすく仕事について説明をしていただきました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回のインターンシップで、本社、各センターでたくさんの方に出会い、丁寧に分かりやすく業務内容や運輸・物流業界について学ばせていただきました。実際に倉庫内作業の就業体験をさせていただき、行き先ごとに違う荷物、時間厳守、天候・気温関係なく倉庫内を動き続けることの大変さに気付きました。そのなかにもやりがいがあり、忍耐力や集中力などが必要であることを知りました。今後、それらを意識した活動を行っていこうと思いました。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名称	防衛省・自衛隊 福岡地方協力本部		
実習期間	2024年8月26日（月）から8月27日（火）まで	実習日数	2日間

●全日程の具体的実習内容

8/26(月) 陸上自衛隊の概要説明・施設見学

現役自衛官との懇談

8/27(火) 海上自衛隊の概要説明・施設見学

現役自衛官との懇談

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

懇談の際に積極的に現役自衛官の方々の話を聞くことを目標に掲げ、自分に自衛隊の仕事が向いているか見極めるための手がかりを得ることが出来ました。仕事のやりがいやその大変さ、自衛隊を目指した理由など、具体的な話をたくさん伺うことができました。一方で、業界研究が不十分であった点は反省すべき課題です。事前の準備が足りなかったため、仕事の内容についてさらに深く質問する機会を逃してしまいました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

今回のインターンシップを通じて、自衛隊の方々が特に身につけていると感じたスキルは責任感です。自衛隊では一人で行動するのではなく、部隊として協力しながら訓練や国防に取り組むため、強い責任感が求められることを実感しました。また、英語の重要性も強く感じました。国連平和維持活動などで海外に派遣されることがあると聞き、海外の人々とコミュニケーションを取る機会が多いため、世界共通語である英語の習得が必須であると認識しました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回のインターンシップでは、実際に駐屯地や基地を訪問し、陸上自衛隊と海上自衛隊の説明を伺いながら見学する中で、自分がこの仕事に向いているかを考える良い機会となりました。また、これまで具体的なキャリアビジョンが定まっていませんでしたが、今回の経験を通じて、責任感を持ち、公共性の高い仕事に就きたいという就職活動の軸を見つけることができました。この軸を大切にしながら、今後の就職活動にしっかり取り組んでいきたいと思えます。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名称	防衛省・自衛隊 福岡地方協力本部		
実習期間	2024年8月26日（月）から8月27日（火）まで	実習日数	2日間
●全日程の具体的実習内容 8/26(月)陸上自衛隊見学・戦車乗車体験 自衛隊員との懇談 8/27(火)海上自衛隊見学・自衛隊員との懇談 （備考）8/29-30 台風により中止			
①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省） インターンシップが始まる前に、あらかじめ自衛隊員の方に質問したいことをまとめていました。今回は天候に恵まれず、二日間中止にはなってしまいましたが、自衛隊の業務ややりがいや福利厚生をはじめ、日頃から心掛けていることなどを聞くことができました。また、メモを取りメリハリを持ってコミュニケーションをとることができたと実感しています。そのため、今回の実習では目標を達成出来たと実感しています。			
②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。 自衛隊員の方々は、国を守る公務ということもあり、非常に強い責任感を持っていると感じました。訓練の際には連帯責任を徹底していると聞き、強い連携力に感銘を受けました。また、隊員の皆さんは丁寧な言葉遣いで礼儀作法も素晴らしく、その姿勢が印象的でした。これらのスキルは、一人ひとりが徹底した覚悟を持って日々取り組む中で培われているのだと思います。この責任感や覚悟を持って仕事に臨むことが、社会人にとって不可欠な要素であると改めて実感しました。			
③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。 自衛隊の方々の責任感や覚悟に触れ、自分自身に置き換えて考える機会となりました。この先、就職先で頼まれた仕事に対し、投げやりな態度で取り組めば失敗に繋がるだけでなく、自分の成長にもなりません。与えられた業務の背景を理解し、責任感を持ちながら常にベストを尽くす姿勢が重要だと考えました。この考えを忘れず、今後の仕事や生活に活かしていきたいです。そして、インターンシップで得た学びを糧に、自分を成長させていきたいです。			

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・地域経済学科		
実習先 名称	丸三証券株式会社		
実習期間	2024年9月5日（木）から 9月6日（金）まで	実習日数	2日間

●全日程の具体的実習内容

9/5(木) オリエンテーション、証券業界を知る
アイデンティティポートフォリオの作成
人間関係の構築、グループワーク

9/6(金) 就活マナー、丸三証券企業説明
先輩社員との交流会、グループワーク

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

証券業界について学ぶことを主な目標として参加しました。証券業界について学んでいくうちに、人との関係を構築することが重要であることに気づきました。証券会社は、お金を直接やり取りする仕事であるため、お客様との信頼関係を築いていくこと、それを継続していくことが仕事に繋がっていくと知りました。相手を知るためには、世間で起きていることや自分がどういう人間であるかを把握するために、自己分析が必要であると学びました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

社会の中で生きていくための自己分析がこれから必要になると思いました。自己分析の時間に自分の特徴を50個挙げるというワークを行ったとき、好きなことや苦手なことなどを思うように書き出すことができず、時間がかかりました。自分のことを知らずして、相手の特徴を聞き出すことは出来ないと実感することができました。先輩社員との交流会においても、自己理解を深めることが大事と聞きましたので、時間をかけて実行することが必要だと思いました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回のインターンシップで、自己分析を通して自己理解を深めることが他者理解にも繋がるということを学びました。関係を構築していく上でこれは必要不可欠です。自分が何をすることで幸せを感じるのか、相手にどう思ってもらうことが自分にとって嬉しいのかを、これから時間を掛けて紐解いていき、自己分析をし続けていくことが重要になると思いました。また、自己分析を通して夢や目標をどのように設定していくことが、これからの人生を決めていくことに繋がると学びました。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・地域経済学科		
実習先 名称	株式会社三好不動産		
実習期間	2024年8月26日（月）から 8月30日（金）まで	実習日数	5日間

●全日程の具体的実習内容

8/26(月)オリエンテーション・会社概要 目標設定・セミナー	8/29(木)売買仲介業務説明・ワーク グループワーク・フィードバック(オンライン開催)
8/27(火)賃貸仲介業務説明・ワーク・フィードバック ロールプレイング・お部屋案内	8/30(金)SDGs 紹介・社員の方と座談会 フィードバック・総括(オンライン開催)
8/28(水)賃貸管理業務説明・ワーク・フィードバック	

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

インターンシップに参加して得られた成果は2つです。一つは三好不動産や不動産業界についての知識が増えたこと、二つ目は初めて話す方とのコミュニケーション力が向上したことです。目的達成度は80点だと感じました。目標に挙げていた不動産業界についての知識を増やすこと、やりがいについて質問することはできましたが、グループワークの際にリーダーを先でできなかったため、目的達成度は80点だと認識しています。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

社会人の方が身に付けていると感じたスキルは、引き出しの多いコミュニケーション能力です。明るい表情で話し相手に分かりやすいように、考えや持っている知識を共有していました。具体的には、私が質問をした際に、的確な回答とともに経験や体験談を混ぜながら話していたところです。そして、堅い話だけでなく、私生活の話もうまく交えながら商談をすることは、営業するうえで必要になるスキルの一つでもあったと考えました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回のインターンシップで学んだことは、「やりがい」「不動産業知識」「就職観」などの考え方が大切ということです。やりがいと不動産業の知識は、業界研究に活かし、就職の価値観に関しては、不動産の業界だけでなく幅広い業界で活かせると感じました。就職後にミスマッチが起こらないよう、やりたいことや興味のあることを深堀して、何の多めに働くのか、成し遂げたいことは何かを考えていきたいです。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・地域経済学科		
実習先 名称	山口三菱自動車販売株式会社		
実習期間	2024年9月20日（金） から 9月22日（日） まで	実習日数	3日間

●全日程の具体的実習内容

9/20(金) 会社概要・事業内容の説明 試乗体験

9/21(土) 営業同席

9/22(日) 営業同席

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

実習を通して、不安要素であった社会人がどのように働いているのか、社内の雰囲気などを知ることができました。最初、営業と聞くとノルマがあつて残業が多いイメージを持っていたのですが、そのようなことはなく、働く環境や雰囲気も良かったので、自分の中のイメージを良いイメージに変えることができました。反省点としては、緊張をしすぎて社員の方々と深くまでコミュニケーションがとれなかったことです。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

営業の仕事に同席させていただいて、お客様との接し方を見ることができました。粗相のないように礼儀正しく接するだけでなく、笑顔で非常に近い距離で接していると感じました。モノを売ることを目的としているわけではなく、長く関係を続けていくために、お客様との距離を縮めて仲を深めていたことが印象的でした。接客に関するマナーだけではなく、個人個人の人間性やコミュニケーション力や愛嬌なども大事だと感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今後、様々な人とコミュニケーションをとる際にこの経験を活かしたいと考えます。友達や大学関係の人などもそうですが、就活の際の面接にも活かせると感じました。日頃、表情が堅く人相が悪く見られたり、相手に怖がられたりすることがよくあります。自分の中でコンプレックスに感じていた部分なのですが、実際にコミュニケーションをとっている場面を見させていただいたため、お手本として今後意識的に色々な場面で活かしていこうと思いました。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・国際社会学科		
実習先 名 称	山十株式会社		
実習期間	2024 年 9 月 10 日（火） から 9 月 12 日（木） まで	実 習 日 数	3 日 間

●全日程の具体的実習内容

9/10(火) ディスカッション

(会社概要の説明・仕事とやりがい)

9/12(木) ポスター作成

9/11(水) 職場体験 事務

REGO SERIOUS PLAY

(発注・伝票・見積書作成)

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

今回のインターンシップでは、他社との違いや自社の強みをお聞きするということと、二～三名の社員の方々と話すという二つの目標を達成することが出来ました。事前に聞きたい質問をある程度考えていたため、時間を無駄にすることがなく、スムーズに進められました。また日頃、社会人と話す機会があまりないため、仕事に対しての思いや仕事をするうえで大変なことなどを聞くことができ、とても有意義な時間になりました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

事務の仕事では正確性をとても大事にしているということです。勢いだけでしてしまうとミスに繋がってしまうため、段階を踏みながらやるということを意識しながら行っていました。見積書の作成の際には、窓のサイズの計算や枚数を一度紙に書いてから、パソコンに打ち込むようにしており、二度確認することで小さなミスも見逃さないようにしていました。小さなミスが大きなミスへと繋がり、会社への信頼にも関わってくるため、最後にもう一度確認するということを徹底していました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回のインターンシップを通して、自分の考えや疑問に思ったことは、しっかり発言することの大切さを学びました。私は日頃大学で発言することがあまりありませんが、初日のディスカッションや最終日の LEGO SERIOUS PLAY で自分の意見を発言しました。相手の考えを聞くことによって、新たな気付きやアイデアなどが生まれ、会社への向上へと繋がることが分かりました。これからは、ただ居る人になるのではなく積極的に発言していきたいと思いました。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・国際社会学科		
実習先 名 称	山十株式会社		
実習期間	2024 年 9 月 10 日（火）から 9 月 12 日（木）まで	実習日数	3 日間

●全日程の具体的実習内容

9/10(火) オリエンテーション・会社内見学 ディスカッション、「山十とは」 社長より会社説明 社員の方々とのディスカッション	9/11(水) 事務作業の説明、倉庫作業の説明 ガラスカット作業 9/12(木) ポスター作成 LEGO SERIOUS PLAY
---	--

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

今回の実習では、総合建材卸売業の業務について深く学ぶことができました。また、社員の方々とのディスカッションを通して「仕事とは何か」を考える機会となりました。仕事とは、様々な経験を通して自分自身を成長させてくれる場でもあると気付けたことは、実習で得た一番の成果だと思います。ガラスカット作業などの業務体験では、作業の繊細さや面白さも体感することができ、積極的に取り組むことができました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

会社の理念や目標を達成するためには、チームワークや信頼関係が大切であると改めて感じました。社員の方々は、発想が豊かで、他者の意見や考えを知ることで、自分の視野を広げていることが分かりました。また、お客様の要望に応えられるように、物事を色々な角度から捉え考えて業務に取り組んでいること、仕事をするなかで時には人を頼ることも必要だということを学びました。そして、自分の成長が組織の成長に繋がっていくのだと感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回のインターンシップでは、自分を知ること、自分が変わらないと何も変わらないということを実感しました。自分を知ることとスキルも向上し、信頼を得て仕事の成果にも繋がっていくと学びました。今後は、自分自身を知ることと今の自分に必要なことは何かを考えながら学生生活を送りたいと思います。一つ一つ目標をクリアできるように努力し、就職活動に向けて人間力を高めていけるように取り組んでいきたいです。

九州国際大学インターンシップ

【 実 習 レ ポ ー ト 】

学部・学科	現代ビジネス学部・地域経済学科		
実習先 名 称	株式会社ゆめマート北九州		
実習期間	2024 年 9 月 4 日（水）から 9 月 6 日（金）まで	実 習 日 数	3 日 間

●全日程の具体的実習内容

9/4(水) ゆめマート門司 オリエンテーション・ビジネスマナー 新入社員の方々との交流 青果の業務体験	9/6(金) ゆめマート北九州本社 本社見学 POP 作成・課題発表 就活アドバイス
9/5(木) 青果の業務体験・店内放送 店舗内見学	

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

インターンシップを通して、挨拶の大切さを強く感じました。日常生活や普段のアルバイトでも自分から挨拶はしていますが、声が小さく、自信がないような挨拶をしていたので、実習の中では、自分から積極的に大きな声で元気よく挨拶することを意識しました。そうすることで、前よりも自分から大きな声で挨拶ができるようになり、従業員の方々に挨拶を返していただいた時はとても嬉しかったです。コミュニケーションを取るためにもお客様だけでなく従業員との挨拶も重要だと感じました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

社会人が身に付けていると感じたスキルは、一つ一つの作業に対する効率化、集中力です。青果の業務体験を行った際に、売り場に出ている野菜や果物が売れる度に、梱包や菜切りを行い、一日中業務が山積みでした。限られた時間の中で効率良く、集中して作業を行うことが重要であると強く感じました。梨やりんごの梱包は、簡単そうに見えて難しく、どうすれば効率良くできるのか「考えながら作業を行う」ことの大切さを学びました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回のインターンシップで、コミュニケーションの大切さと作業の効率化等、考えることの重要性を学ぶことができました。コミュニケーションの一つとして挨拶はとても重要なので、日常生活や普段のアルバイトで自分から積極的に元気よく行うことで習慣化して、就職活動にも活かしたいです。また効率良く物事を行うことは日頃から大事だと思うので、何をするにも効率化の為にどうすればよいのかを考えながら行動していきたいです。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名 称	株式会社ラック		
実習期間	2024 年 8 月 19 日（月）から 8 月 21 日（水）まで	実 習 日 数	3 日 間

●全日程の具体的実習内容

8/19(月)オリエンテーション・会社説明 企業理念について・アッテル受験(適性検査) 社会人と学生の違い,マナーについて ドレスコーディネーター体験	8/20(火) ユーネラル事業について・斎場でご葬儀見学 エンディングプランナー体験・ライフプランナーワーク 8/21(水)ノーブルジャパン見学 ウエディングプランナーワーク 3 日間の感想発表・座談会
--	---

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

初めてのインターンシップで慣れないことが多く、成果よりも反省点が多いと感じております。評価点としては、人前で感想や意見を述べる際に、言葉を詰まらせることなく話すことができた点です。以前の私であれば、あたふたしていたと思います。反省点としては、グループワークの際に自分の意見を積極的に出せなかったことです。意見交換は社会人にとって必要不可欠なスキルであるため、今後は積極的に意見を表明できるように努めていきたいと考えております。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

社会人が身に付けていると感じたスキルは、互いに情報を共有するスキルです。実習中やバスでの移動中に、社員同士が次の予定や時間などの情報を共有している様子を見て、その重要性を感じました。社会人は「報告・連絡・相談」が基本と言われるのですが、実際にそのやり取りを目の当たりにするのは初めてでした。私たちのスケジュールが予定通り進んでいるのは、こうした情報の共有や連絡がしっかり行われているおかげだと実感し、情報共有の重要性をより強く感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回のインターンシップでは、社会人の方々から多くのことを学びましたが、それと同時に他大学の学生からも学ぶことが多くありました。特に、強い積極性を持ち自分の意見をしっかり持っている姿勢は、私自身足りない部分だと痛感しました。今後は、初歩的なことで躓き、本来の目的を見失わないように、積極性を身に付けていきたいです。秋学期のゼミ活動では、積極的に発言することを心掛け、少しずつでも自分を成長させていきたいと考えています。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名 称	株式会社ラック		
実習期間	2024 年 8 月 1 9 日（月） から 8 月 2 1 日（水） まで	実 習 日 数	3 日 間

●全日程の具体的実習内容

8/19(月) オリエンテーション、会社説明
企業理念について

8/19(月) アッテル受験
ドレスコーディネーター体験

8/20(火) ヒューネラル事業とは、ご葬儀見学
エンディングプランナー体験

ライフプランナーワーク

8/21(水) スタジオ見学、プロデュース体験、まとめワーク
発表、座談会

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

私は積極的に発言・行動することを目標としてインターンシップに参加しました。その自己評価としてはとても満足のいく結果だったと思います。理由は、3日間行った全ての体験活動で、グループ内の意見を代表として他のグループに発表し、「これやってみたい人」と聞かれた際には、手を挙げて立候補できたからです。その結果、担当の方から積極的な行動が印象的で良かったと仰っていただきました。

②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

社会人が身に付けていると感じたスキルは、人前で話すコミュニケーション能力です。話を伺った事業所の方々は全員ハキハキと説明をしており、堂々と立ち振る舞う姿が学生にはないものだと感じました。実習では主にお客様に対してのヒアリングをするロールプレイを行いました。相手に寄り添って対話することの難しさが理解でき、コミュニケーション能力の必要性を感じました。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

今回のインターンシップで学んだことは、積極的に行動することの重要性です。グループワークや体験活動の時に、自ら積極的に発言・行動することで、他の人も発言・行動しやすくなったと感じました。それより企業の方に好印象を与えることができ、結果的に自分のためになると実感することができました。今後どんな事でも継続して、より一層努力することで積極性を発揮していきたいと考えました。

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名 称	株式会社リーガロイヤルホテル小倉		
実習期間	2024 年 9 月 2 日（月） から 9 月 6 日（金） まで	実 習 日 数	5 日 間
●全日程の具体的実習内容 9/2(月) オリエンテーション(諸手続き・概要説明 人事の仕事について) 入社手続・接遇研修、館内見学・座談会 9/3(火) 営業部に関する座学・営業就業体験 9/4(水) 飲料部「リートス」就業体験 9/5(木) 宿泊部座学研修 客室センター・ハウスキーパー就業体験 フロントサービス就業体験 9/6(金) 社内報づくり 総務人事ミーティング参加 販売促進就業体験、社内広報誌掲載			
①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省） 今回の実習を通して、ホテル業への理解を深めると同時に、自信をつけることができました。ホテル業と言えばフロントでの接客のイメージが強く、他の業務について知らないことが多くありました。ホテル業にも営業があり、宴会のセールスや予約業務、販売促進といったホテルの PR を行う部署もあり、ホテルも一つの会社であると感じました。また前回の反省を踏まえ積極的に行動できたことから自信を高めることができました。			
②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。 ホテル業では特に、お客様との関わりを大切にしているため、相手を気遣った言動や行動、笑顔、そして言葉遣いなど、一つ一つの丁寧な対応から高いコミュニケーション能力が求められることを実感しました。今回の実習では、様々な部署で学ばせていただきましたが、どの部署でも「人と人の繋がり」が重要であることを強く感じました。人の支えによって一つの会社が成り立っているということを実感し、その中でもコミュニケーション能力が不可欠であることを改めて認識しました。			
③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。 前回のインターンシップに続き、ホテル業界への理解をさらに深めるとともに、自分の視野を広げることができ、自己理解を深めるきっかけを得ました。この経験を踏まえ、自分に合った適職を探していきたいと考えています。また、コミュニケーション能力や第一印象の重要性について学び、特に接遇の姿勢や社員の方々の優れたコミュニケーション能力から多くのことを吸収しました。この学びを今後の就職活動に活かし、第一印象をより良いものにできるよう努めていきたいです。			

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	法学部・法律学科		
実習先 名称	株式会社リーガロイヤルホテル小倉		
実習期間	2024年9月2日（月）から9月6日（金）まで	実習日数	5日間
●全日程の具体的実習内容 9/2(月)オリエンテーション・会社説明 9/3(火)館内見学・営業同行 9/4(水)レストラン業務 9/5(木)ハウスキーパー 9/6(金)広告作り			
①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省） このインターンシップを通して、フロント以外の業務や各部署を体験・見学できたことが非常に良い経験になりました。インターンシップ参加前は、ホテル業に営業業務があると知らず驚きました。また、宿泊部のハウスキーパーの仕事内容や総務部の具体的な業務を知ることができたのも大きな収穫でした。インターンシップに参加する上で、10人の方と話すという目標も達成することができ、満足のいく実習となりました。			
②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。 コミュニケーション能力の高い方が多いと感じました。コミュニケーションにもいくつか種類があり、会社の方と交流をする力、ミーティング中に自分の意見を言語化する力、営業する上で相手の心情を自分なりに理解し話す力など、一人一人が違ったコミュニケーション能力を持っているように感じました。将来就きたい職業に必要な能力を知り、優先順位を付けて身に付けようと思いました。			
③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。 従業員の方々による接客研修で、基本となる立ち姿勢や相手に対する言葉遣いなどを学びました。私は元々姿勢が良くなかったのですが、この研修を通して正しい姿勢へと改善することが出来ました。この接客はホテル業だけでなく様々な業界でも必須となるものであるため、今回学んだ事を次の就職活動にも活かせるよう心掛けたいです。			

九州国際大学インターンシップ

【実習レポート】

学部・学科	現代ビジネス学部・国際社会学科		
実習先 名称	株式会社ルネ		
実習期間	2024年8月19日（月）から9月18日（水）まで	実習日数	3日間

●全日程の具体的実習内容

8/19(月) オリエンテーション グループワーク 会社説明

9/17(火) 生産管理部 検品作業

9/18(水) 生産管理部 受注確認 納品書作成

①実習を通しての成果・目的達成度（自己評価と反省）

一日目は、会社概要を詳しく知ることができ、グループワークでは楽しく各種仕事体験を行うことが出来ました。二日目からは、初めて長時間高価な服に触れる機会をいただき、楽しくアパレル業界について知るという目標は達成できたと思います。積極的に発言、発表すること、業務に取り組むことができました。実際に店舗で体験することが出来たので充実したインターンシップになりました。

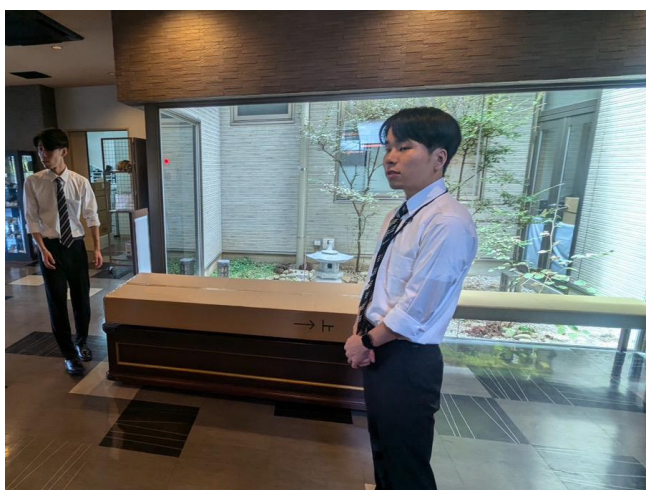
②社会人が身に付けていると感じたスキルについて、具体例を挙げて記入してください。

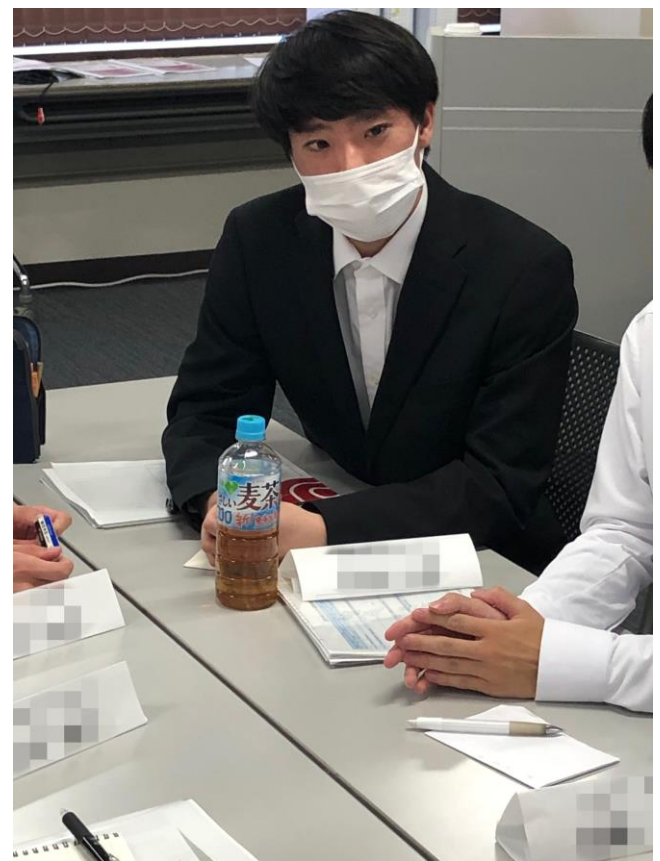
挨拶をととても大事にしていると感じました。各部署に入る際、「おはようございます」「失礼します」「お疲れ様です」など、大きな声ではきはきと挨拶をしていました。インターンシップ開始前に、担当の方から「ルネは挨拶を大事にし、別部署の人ともコミュニケーションをとることを怠らないようにしている」とお聞きました。私も負けずと元気な挨拶を心掛け、気合も入ったためか、周りの方々と壁が少しずつ無くなっていく感じがしました。これを機に挨拶を心掛けるようにします。

③今回のインターンシップで学んだ事柄を、今後どのように活かしていきたいと考えていますか。

一番勉強になったのが事務所内での会話です。事務所内では様々なところへ電話を掛け、工場や他部署と連絡を取る様子を拝見しました。その会話を聞いているうちに、いかに報告の仕方やお互いの情報共有が大切かを学びました。報告の際は自分の意見ではなく、どのようなやり取りを行い最終的にどのような結果になったかを報告することが大切だと感じました。かなり忙しそうな現場に身を置かせていただき、たくさんの学びを得ることが出来ました。

● インターンシップ実習風景





●インターンシップの受入れについてご協力をお願いいたします。

九州国際大学 夏季インターンシッププログラム

ご協力をお願い

昨今、インターンシップへの関心度や重要性が急激に高まっています。学生側も企業側も「インターンシップに参加することが、採用への必須条件」とも言われている状況です。また、就職活動においても『New Style』が求められ、インターンシップはお互いがより早期に出会う場として期待されています。

どうぞ皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

【1】受入れ人数	1人でも可
【2】時期・期間	夏期休暇中の原則 5 日間以上(8月上旬～9月下旬) ※5日間未満の場合もご相談ください。
【3】学生に対する研修	[事前研修]4月より計7回開催(終日研修2回含む)※2024年プログラム実績
【4】実習	受入企業様によるプログラムに基づいて実施
【5】学生に対する事後研修会	全実習生によるグループワーク・プレゼンテーション ※2024年プログラム実績
【6】手当など	原則無報酬。交通費・食費も学生負担
【7】保険加入	学研災付帯賠償責任保険加入。対人・対物1億円の任意保険加入
【8】覚書・誓約書	期間や受入部署等を明記し、大学長名にて覚書を交わす。 就業規則違反や器物損壊など問題が生じた場合は、実習生個人の 問題解決を原則とする。トラブル時の責任所在を明確にするために、実 習生と受入企業様との間で誓約書を交わす。

■インターンシップで期待される効果(過去受入先企業様のアンケート回答他より)

- * 社内の活性化や研修制度の整備・構築が期待できます。
- * 学生のトレンドやアイデアを自社製品やサービスに採用できる可能性があります。
- * 貴社の属する業界や貴社自身への理解が深まり、実習生の就職先選択肢になり得ます。

■インターンシップに関するご案内・申込書式は、本学ホームページにてご覧になれます。

受入れ可能な場合は大変お手数ですが、ご連絡いただきますようお願い申し上げます。

📄📄インターンシップページ📄 📄 <https://www.kiu.ac.jp/career/recrui/intershi/>

【お問合せ先】

〒805-8512 北九州市八幡東区平野 1 丁目 6 番 1 号

九州国際大学 キャリア支援室 インターンシップ担当(新田 ・ 中村 ・ 中本)

TEL : (093) 671 - 8917 FAX : (093) 671 - 9029

E-mail : job@office.kiu.ac.jp URL : <http://www.kiu.ac.jp/>



キャリア支援室

【TEL】 (093)671-8917

【FAX】 (093)671-9029

【Email】 job@office.kiu.ac.jp

【URL】 <http://www.kiu.ac.jp>